令和９年度

一般選抜学生募集要項

（インターネットにより出願受付）



令和８年10月

静　岡　大　学

出願準備から受験までの流れ

① 入試日程・出願手続を確認する。

⇩

② 出願書類を準備する。
●高等学校に調査書を依頼する。
●その他，必要な書類を用意する。

⇩

③ 静岡大学インターネット出願サイトにアクセスする。
（下記URL参照）

⇩

④ インターネット出願サイトにて必要事項を入力する。

⇩

⑤ 検定料等を納入する。（クレジットカード決済・コンビニ決済等）
※検定料　17,000円（要別途手数料）
※入試情報開示手数料　700円（希望者のみ）
◎ 納入後の入学検定料等は，78ページの「検定料等の返還等について」に掲げる場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

⇩

⑥ 検定料の納入後に出力可能となる書類（出願確認票，出願封筒用宛名ラベル）を出力する。

⇩

⑦ 出願確認票の記載内容を確認する。

⇩

⑧ 出願封筒用宛名ラベルの内容を確認し，市販の角形2号の封筒に貼付のうえ，出願期間内に必着するように出願書類を郵送する。
（注：消印有効ではありません）

⇩

⑨ インターネット出願サイトのマイページから受験票を印刷する。

⇩

⑩ 受験票を試験当日に持参し，受験する。

※ インターネットでの登録だけでは出願は完了しません。必ず出願書類を出願期間内に必着するように送付してください。

【静岡大学インターネット出願サイト】

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/entry/

目　　次

Ⅰ　はじめに　２ページ

☆　静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー ）」
☆　入学試験の概要
☆　学部等の所在地

Ⅱ　募集人員　13ページ

Ⅲ　出願資格及び出願要件　14ページ

Ⅳ　障害のある入学志願者への受験上の配慮　17ページ

Ⅴ　選抜方法等　18ページ

１　前期日程
人文社会科学部：19～22ページ,　教育学部：23～27ページ,　情報学部：28～30ページ,
理 学 部　：31～36ページ,　工 学 部：37～41ページ,　農 学 部：42～43ページ,
グローバル共創科学部：44～45ページ

２　後期日程
人文社会科学部：46ページ,　教育学部：47～52ページ,　情報学部：53～55ページ,
理 学 部　：56～61ページ,　工 学 部：62～66ページ,　農 学 部：67～68ページ,
グローバル共創科学部：69ページ

３　教育学部実技検査：70ページ

Ⅵ　個別学力検査等の日時・試験時間割及び試験場　71ページ

Ⅶ　合格発表　74ページ

Ⅷ　欠員補充　75ページ

Ⅸ　出願手続　76ページ

１　出願期間
２　出願方法
３　出願書類等
※受験票についての注意　〈 77ページ 〉
※ 検定料等の返還等について　〈 78ページ 〉
・教育学部第２志望の選択に関する注意事項（前期日程）　〈 79ページ 〉
・工学部第２志望・第３志望学科の選択に関する注意事項　〈 80ページ 〉

☆　学生生活　81ページ

☆　学生の住居について　82ページ

■　静岡キャンパスマップ　83ページ
■　浜松キャンパスマップ　84ページ

☆　入学手続（概要）　85ページ

☆　入学試験情報の提供　86ページ

☆　個人情報の取扱い　86ページ

☆　安全保障輸出管理　86ページ

※本要項において「個別学力検査」とは，本学が実施する「教科・科目に係る個別テスト」のことを指します。

Ⅰ はじめに

☆ 静岡大学の「入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）」

【育てる人間像】
静岡大学は，教職員，学生が共に「自由啓発」を基盤として，平和で幸福な「未来創成」をめざします。この基本理念の下，地球の未来に責任をもち，アジアをはじめ諸外国との関わりをもつ国際的感覚を備え，高い専門性を有し，失敗を恐れないチャレンジ精神にあふれた人格を育成します。こうした人格こそが，社会の様々な分野でリーダーとして，２１世紀の解決すべき問題を追求し続ける豊かな人間性を有する教養人です。

【目指す教育】
感性豊かな知性を育てるために，フィールドワーク，ものづくり体験，地域づくり，子どもと共にそだちあえる学校や地域の場に接する機会を活用します。それによって刺激を受けた人間力を，基礎と応用の分野での学習・研究に反映させます。

【求める学生像】
失敗を恐れず若々しいチャレンジ精神をもち，人の意見によく耳を傾け，それに学び，協調性豊かに自己主張ができる人の入学を期待します。

＊「自由啓発」・「未来創成」については，本学ウェブサイトの 「大学案内」＞「理念と目標・取組」＞『理念と目標』（ https://www.shizuoka.ac.jp/outline/vision/goals/ ） をご覧ください。

＊ 静岡大学では「多様な選抜」で「多様な人材」を求めており，一部の学部・学科において専門学科及び総合学科枠等の出願資格の限られた募集区分を設けています。

◘ 各学部の入学者受入の方針（アドミッション・ポリシー）

◆人文社会科学部

【育てる人間像】
２１世紀の多様な問題に，社会，言語，文化，法律，政治，経済等の分野から取り組むために必要な専門知識と能力を身につけ，国際的な視野と幅広い教養を備え，人類社会の発展に貢献する市民・社会人を育成します。

【目指す教育】
人文社会科学諸分野の専門教育とともに，専門知識を生かして課題発見・問題解決する能力を育成する少人数教育やフィールドワーク教育（体験型教育）を行います。

【求める学生像】
人類社会が共に抱える諸問題に関心をもち，人文社会科学領域に対する学習意欲と，そのための基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】
社会学科は５つの専門分野からなる学際性の高い学科です。専門性を高めつつも横断的に学んでいくために，人間や社会に対しての旺盛な関心，各種科目についての基礎知識，論理的な思考力，正確な文章読解力，基礎的な表現力を身につけておくことが求められます。
言語文化学科で学ぶ基礎となる論理的な思考力，文章の読解力，自分の意見を伝える表現力，他者との意思疎通を図るコミュニケーション能力を高めておく必要があります。高等学校までの教育課程で修得する基盤的教養と国語や外国語の能力は特に重要です。
法学科で学ぶには，論理的な思考力，文章の読解力，自分の意思を適切に伝える表現力，他者との円滑な意思疎通を図る能力が必要になります。日頃から社会の動きに関心を持ち，幅広い問題意識と探求心を養っておいてください。

経済学科で学ぶには，必要な能力の素地となる基礎的な学力として，初等中等教育における国語・外国語・数学・理科・社会の各教科を学習しておくことが必要です。また新聞やニュースを通じて経済に関する国内外の時事問題等を理解しておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

［社会学科］

人間社会や文化を現代的，歴史的な観点（哲学・倫理学，心理学，社会学，文化人類学，歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し，そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［言語文化学科］

言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とします。言語と文化に関する深い専門性，学際的・国際的な視野，及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指します。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［法学科］（夜間主コース含む）

法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等の修得を目指すものです。そのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

［経済学科］（夜間主コース含む）

人びとの経済活動は，現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで，その実態や理論を学び，経済問題への分析を深め，その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では，このような課題に取り組み，社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しておりそのための能力・学力・適性等を各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》：夜間主コースを除く

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（2）［社会学科］個別学力検査：社会学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い視点からの分析力や考察力，論理的思考力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

［言語文化学科］個別学力検査：言語文化学科において学ぶために必要な読解力，論理的思考能力，表現力，芸術・文化的感性，英語の読解力・表現力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

［法学科］個別学力検査：法学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力，論理的思考力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

［経済学科］個別学力検査：経済学科において学ぶための基本となる国語・英語能力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》：法学科（夜間主コースを除く）

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（2）個別学力検査：法学科で実施する「小論文」では，特定の社会現象を記述した資料をもとに問いを発し，各受験者の解答を通して，各自の知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科(*1)	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	○
一般選抜（後期日程）	法学科(*1)	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	

*1：夜間主コースを除く

◆教育学部

【育てる人間像】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員を育成します。

【目指す教育】

教育に関する理論に基づく学究活動と実践的な体験活動を通して，教職に対する強い情熱を持つとともに，教員に必要な専門的知識や技能，様々な教育課題に対応できる問題解決力や創造力等を身につけることができる教育を行います。

【求める学生像】

教育問題や教育活動に関心が高く，教職への適性・志向性をもつとともに，教員として必要となる基礎的な知識や技能，新しい課題を解決するための思考力・判断力・表現力，および他者と協働的に課題に取り組むことを可能にするコミュニケーション力等を備えた人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

教育学部が行う入学者選抜試験は，受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうか，入学後に学習を進めていくために必要な力を有するかどうかをはかるものです。志願者は，志望する専攻・専修に課されている試験の科目について，幅広く学習を進めるだけでなく，日頃から教育問題や教育活動に関心をもっておくことが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》
（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》：［学校教育教員養成課程］発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，数学教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）
（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

<table>
<tr><th>入試区分</th><th>学科</th><th>入学者選抜方法</th><th>知識・技能</th><th>思考力・判断力
・表現力</th><th>主体性を持って
多様な人々と
協働して学ぶ態度</th></tr>
<tr><td rowspan="2">一般選抜
（前期日程）</td><td rowspan="2">全専攻・専修</td><td>大学入学共通テスト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>個別学力検査</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="3">一般選抜
（後期日程）</td><td>発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，数学教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）</td><td>大学入学共通テスト</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td>発達教育学専攻（教育実践学専修），養護教育専攻，特別支援教育専攻，教科教育学専攻（国語教育専修，理科教育専修，美術教育専修，家庭科教育専修）</td><td>個別学力検査（面接）</td><td>○</td><td>○</td><td>○</td></tr>
<tr><td>教科教育学専攻
（数学教育専修）</td><td>個別学力検査（数Ⅲ）</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr>
</table>

◆情報学部

【育てる人間像】

情報科学，行動情報学，情報社会学についての豊かな知識と国際感覚を備え，情報モラルと高度な情報技術，情報マネジメント能力を身につけた社会人を育成します。

【目指す教育】

情報科学，行動情報学，情報社会学が連携・融合した情報学の基礎的な教育とともに，それぞれの分野において計算機科学，データサイエンスや情報サービス，情報社会デザインという体系的な専門教育を行います。

【求める学生像】

著しい発展を続ける学問分野「情報学」に強く興味を持つ人，情報ネットワーク社会にあって多様化する地域社会および国際社会に貢献する意欲のある人，情報技術とそれを取り巻く社会や人間行動の変化を捉える学理を確立する意欲のある人，情報学を学ぶうえで必要な基礎学力と論理的思考力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

情報学部は文工融合の理念にもとづいた学部です。学科により理系入試と文系入試がありますが，大学入学後は３学科の専門科目にまたがる諸科目を履修します。

したがって，大学での授業に対応できるように理系文系を問わず広く教科・科目を学習し，基礎知識を習得しておくことが必要です。また基礎知識に加えて，各教科・科目の学習を通して論理的思考力・問題発見力・表現力を養うことも必要です。

【入学者選抜の基本方針】

［情報科学科］

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に，ａ．計算機科学の基礎となる理論や技術，ｂ．インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術，ｃ．人工知能システムなどの高度な情報処理システム，ｄ．音声や画像，自然言語などのメディア処理とその応用，ｅ．認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

［情報社会学科］

高度情報化は，人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では，情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで，多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして，多様な専門家との協働の場を形成し，新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

［行動情報学科］

高度情報化社会の下で，個人や組織の行動主体の情報学研究や，ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では，情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに，革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）［情報科学科］個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを多面的・総合的に判断します。
［情報社会学科］個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，表現力，問題発見能力などを総合的に判断します。
［行動情報学科］個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）［情報科学科］個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。

［情報社会学科］個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，表現力，問題発見能力などを総合的に判断します。
［行動情報学科］個別学力検査：受験する学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	
一般選抜（後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査	○	○	

◆理学部

【育てる人間像】
高い専門性とともに幅広い教養・豊かな人間性・国際感覚を身につけた社会に貢献できる人を育成します。

【目指す教育】
自然界の真理の探究，科学の進展と応用を通じて人類の幸せに寄与することを目指した教育を行います。

【求める学生像】
知的好奇心や探究心を強く持って未知へ挑戦する情熱ある人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】
理学部が行う入学者選抜試験は，受験者が上記の「求める学生像」を満たす人であるかどうかをはかるものです。「未知への挑戦」のためには幅広い基礎知識が必要です。
したがって，入試種別に関わりなく，特定の教科・科目にかたよらないよう，高校までに学習する全ての教科と科目についての基礎知識を習得しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】
［数学科］
現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも，それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［物理学科］
物理学の基本となる力学，電磁気学，統計物理学，量子力学などの科目を通じて，物理学的な考え方や数学的手法を学び，自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて，社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［化学科］
物理化学，無機化学，有機化学，生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［生物科学科］
生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［地球科学科］
地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［創造理学（グローバル人材育成）コース］

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

（1）［数学科］［物理学科］［化学科］［生物科学科］［地球科学科］大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
［創造理学（グローバル人材育成）コース］大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。

（2）［数学科］個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［物理学科］個別学力検査（教科）：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［化学科］個別学力検査（教科）：化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［生物科学科］個別学力検査（教科）：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［地球科学科］個別学力検査（教科）：地球科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［創造理学（グローバル人材育成）コース］個別学力検査（教科）：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

《一般選抜（後期日程）》

（1）［数学科］［物理学科］［化学科］［生物科学科］［地球科学科］大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
［創造理学（グローバル人材育成）コース］大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。

（2）［数学科］個別学力検査（教科）：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［物理学科］個別学力検査（教科）：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［化学科］個別学力検査（教科）：化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。また，長文による記述式問題を通して，科学的文章表現の能力を判断します。
［生物科学科］個別学力検査（教科）：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
［創造理学（グローバル人材育成）コース］個別学力検査（教科）：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

（3）［数学科］［物理学科］［生物科学科］［創造理学（グローバル人材育成）コース］学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）
［地球科学科］小論文：地球科学科において学ぶための基本となる論理的思考力，表現力や科学の方法に対する理解などを総合的に判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜（後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
	数学科，物理学科，化学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース	個別学力検査（教科）	○	○	
	数学科，物理学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース	調査書	○	○	○
	地球科学科	小論文	○	○	

◆工学部

【育てる人間像】

「仁愛を基礎にした自由啓発」の精神を尊び，人類の豊かな未来の創成に貢献することを理念とし，「ものづくり」を基盤とした基礎力と実践力を備え，地域社会や産業分野でリーダーとして活躍し世界にはばたく人材を育成します。

【目指す教育】

豊かな教養と感性及び国際的な感覚を身につけ，多様化する社会に主体性を持って柔軟に対応し，独創性に富んだ科学技術を創造する技術者として活躍できるための素地を培う実学重視の教育を行います。

【求める学生像】

「ものづくり」に興味があり，何事にも協調性を持ちながら積極的に立ち向かう人，高い倫理観を持って社会に貢献しようとする人，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を有する人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

工学部が行う入学者選抜試験は，工学を学ぶうえで必要な基礎学力を受験者が有しているかを判定します。大学入学共通テストでは，前後期日程とも６教科８科目を課し総合的な基礎学力を問うとともに，個別学力検査では，各学科で学ぶための基本となる学力について問うため，前後期日程とも数学，理科，英語の３教科３科目を課しています。

したがって，入試種別に関わりなく，理系科目に重点を置きながらも，文系科目を含めて高校までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得していることが望まれます。

【入学者選抜の基本方針】

［機械工学科］

航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材，ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材，光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［電気電子工学科］

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は，情報通信・情報処理，生体医用技術，光エレクトロニクス，電気エネルギーの発生および有効利用，パワーエレクトロニクス，電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［電子物質科学科］
電子物質科学は，現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで，本学科では数学，物理や化学の基礎学力があり，日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［化学バイオ工学科］
化学バイオ工学科では，光機能物質，生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や，環境化学，化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また，化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより，研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において，責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では，そのために必要な能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

［数理システム工学科］
数理システム工学科では，数理科学の手法として，数理モデリング，最適化，機械学習，データ分析を，情報技術として，プログラミング，アルゴリズム，シミュレーション，数値計算，分散処理などを幅広く学び，これらを活用したシステム設計・分析技法を実践的に習得した人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）・（後期日程）》
（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜（後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	

◆農学部

【育てる人間像】
人間社会と直結したフィールド科学と基礎科学を修得し，農学の幅広い専門分野を俯瞰でき，かつ相応の専門性を有するとともに，人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，地域活性化への貢献とグローバル社会への適応が可能な総合力を備えた人材を育成します。

【目指す教育】
実地体験型フィールド演習と基礎科学実験を基盤として，座学と実験・演習の連動を重視したカリキュラム構成によって，基礎から応用までを見渡せる広い視野を身につけるとともに，専門性を高める教育を行います。

【求める学生像】
自然科学，生命科学を学ぶ上で必要な適性と基礎学力を有し，人類の生存と福祉に関わる環境・社会問題の解決，持続可能な生物生産技術の開発，応用生命科学の探求に強い意欲を持つ人の入学を期待します。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

農学部が行う入学者選抜試験は，受験者が「求める学生像」の観点を満たす人物であるかどうかをはかるものです。前期日程では，大学入学共通テストで６教科８科目と個別学力検査では数学，理科を課しています。また後期日程では，大学入学共通テストの６教科８科目と個別学力検査では理科等を課しています。

したがって，入試種別に関わりなく，高等学校修了までに学習するすべての教科と科目について基礎知識を習得するとともに，理系科目を十分に学習しておくことが必要です。

【入学者選抜の基本方針】

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：理系の教科の達成度から，農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。

《一般選抜（後期日程）》

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査（教科）：農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力，論理的思考力などを総合的に判断します。

（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等に応じて評価し，これらを総合的に判断します。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においては，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等について，提出書類をもとに評価します。）

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	学科	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜（後期日程）	全学科	大学入学共通テスト	○	○	
		個別学力検査（教科）	○	○	
		調査書	○	○	○

◆グローバル共創科学部

【育てる人間像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで，社会的課題が多様化・複雑化する現代社会の状況を踏まえ，人文・社会科学から自然科学に至る多様な知を結びつけ複眼的アプローチから諸課題に取り組み，未来社会を構想できる共創型の人材を育成します。また，人々や世界の多様性を理解し尊重した上で，多様な背景をもつ人々と協働して社会的課題の解決に取り組むことのできる人材を育成します。

【目指す教育】

人文・社会科学から自然科学に至る幅広い知を繋げることを通して，複眼的観点から社会的課題を的確に捉え「総合知」を活用し，これからの課題解決に取り組む人材を育成するため，課題解決に必要な広汎な知識，異分野の人材を深く連携させ「総合知」を活用できる知識・能力，解決策を発想するための創造性，多様な背景をもつ人々と協働する能力を身につけます。また，新しい社会の価値や仕組みを構想できる人材を育成するため，基本的な知識・技能として，外国語（特に英語）と数理・データサイエンスの能力と技能を養います。

【求める学生像】

地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで，様々な社会的課題の解決に取り組み，よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっており，特に「現代に生きる人々が，創造的かつ友好的に暮らす」，「新たな価値を創生し，持続的な循環型社会を実現する」，「人間がどうあるべきかを問い続け，真の豊かさを主体的に実現する」という３つの課題を通して，「未来社会・地球環境・人間環境の豊かさが持続可能なかたちで実現される」よう問題解決に向けて取り組むことに意欲ある学生を期待します。また，学修内容の指向性としては，文系と理系の双方を含む幅広い分野への興味をもっていること，外国語によるコミュニケーションへ意欲をもっていることを求めています。

【大学入学までに身につけておくべき教科・科目等】

人文・社会科学分野から自然科学分野に至る幅広い分野を学ぶことになるため，文系と理系を含めた様々な分野を学習し，幅広い基礎的知識を修得していることが必要です。また，外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として，英語や数学を履修していることも求められます。

【入学者選抜の基本方針】

静岡大学グローバル共創科学部は，「求める学生像」「大学入学までに身につけておくべき教科・科目等」に基づき以下の三点を評価します。一般選抜では基礎的な学力を重視し，学校推薦型選抜，及び総合型選抜では社会・環境・人間等への関心や問題解決への意欲を含めて総合的に判定します。

ａ．外国語（特に英語）や数理・データサイエンスを学ぶ上で必要な基礎的知識として，英語や数学を履修していること
ｂ．文系と理系を含めた様々な分野を学習し，幅広い基礎的知識を修得していること
ｃ．地球規模の課題から地域社会の課題に至るまで，様々な社会的課題の解決に取り組み，よりよい未来社会の実現に貢献することに意欲をもっていること

これらａ，ｂ，ｃを，次の各試験において判断します。

《一般選抜（前期日程）》
（１）大学入学共通テスト：ａとｂの達成度合いを判断します。
（２）個別学力検査（教科）：ａとｂの達成度合いを判断します。

《一般選抜（後期日程）》
（１）大学入学共通テスト：ａとｂの達成度合いを判断します。
（２）小論文：ｃを判断します。

【入学者選抜方法における重点評価項目】

入試区分	入学者選抜方法	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
一般選抜（前期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	個別学力検査（教科）	○	○	
一般選抜（後期日程）	大学入学共通テスト	○	○	
	小論文	○	○	○

☆ 入学試験の概要

《選抜方式について》

国立大学の個別学力検査は「分離・分割方式」（同一大学・学部を前期日程及び後期日程の二つのグループに分け，前期日程を２月25日から，後期日程を３月12日から実施する方式）で実施されます。

なお，本学は，前期日程を２月25日に，後期日程を３月12日に実施します。

《選抜方法について》

大学入学共通テスト，個別学力検査，実技検査，面接，小論文及び調査書を総合して選抜します。

☆ 学部等の所在地

静岡地区	人文社会科学部	〒422-8529　静岡市駿河区大谷836
	教 育 学 部	
	理　学　部	
	農　学　部	
	グローバル共創科学部	
	地域創造学環（教育プログラム）	
	大 学 院（人文社会科学研究科修士課程）	
	〃　（教育学研究科後期３年博士課程）	
	〃　（教育学研究科専門職学位課程）	
	〃　（総合科学技術研究科理学専攻修士課程）	
	〃　（総合科学技術研究科農学専攻修士課程）	
	〃　（山岳流域研究院修士課程）	
	〃　（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期３年博士課程）	
	〃　（岐阜大学大学院連合農学研究科後期３年博士課程）	
	グリーン科学技術研究所	
浜松地区	情 報 学 部	〒432-8561　浜松市中央区城北三丁目5番1号
	工　学　部	
	大 学 院（総合科学技術研究科情報学専攻修士課程）	
	〃　（総合科学技術研究科工学専攻修士課程）	
	〃　（創造科学技術大学院自然科学系教育部後期３年博士課程）	
	〃　（光医工学研究科光医工学共同専攻後期３年博士課程）	
	電子工学研究所	
	グリーン科学技術研究所	

Ⅱ 募集人員

学部	学科・課程等			一般選抜募集人員		
				前期日程	後期日程	計
人文社会科学部	昼間コース		社会学科	45	―	45
			言語文化学科	50	―	50
			法学科	54	18	72
			経済学科	105	―	105
	計			254	18	272
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修	5	2	7
			教育心理学専修	6	―	6
			幼児教育専修	9	―	9
		初等学習開発学専攻		7	―	7
		養護教育専攻		4	2	6
		特別支援教育専攻		9	5	14
		教科教育学専攻	国語教育専修	19	3	22
			社会科教育専修	18	―	18
			数学教育専修	19	3	22
			理科教育専修	12	6	18
			音楽教育専修	9	―	9
			美術教育専修	7	3	10
			保健体育教育専修	11	―	11
			技術教育専修	8	―	8
			家庭科教育専修	5	3	8
			英語教育専修	12	―	12
	計			160	27	187
情報学部	情報科学科			53	30	83
	情報社会学科			40	20	60
	行動情報学科			38	22	60
	計			131	72	203
理学部	数学科			20	10	30
	物理学科			20	18	38
	化学科			20	17	37
	生物科学科			20	20	40
	地球科学科			27	10	37
	※1 創造理学（グローバル人材育成）コース			8	5	13
	計			115	80	195
工学部	機械工学科			90	50	140
	電気電子工学科			60	36	96
	電子物質科学科			50	50	100
	化学バイオ工学科			45	45	90
	数理システム工学科			25	17	42
	計			270	198	468
農学部	生物資源科学科			45	25	70
	応用生命科学科			35	20	55
	計			80	45	125
共創	グローバル共創科学科			48	20	68
	※2 計			48	20	68
合計				1,058	460	1,518

※1 理学部創造理学（グローバル人材育成）コースは，数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い，各学科への配属は2年進級時になります。

※2 共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。

Ⅲ 出願資格及び出願要件

1 出願資格

入学を志願できる人は，次のいずれかに該当する人です。

（1）高等学校（中等教育学校を含む。以下同じ。）を卒業した人及び令和９年３月卒業見込みの人

（2）通常の課程による12年の学校教育を修了した人及び令和９年３月修了見込みの人（特別支援学校の高等部または高等専門学校第３学年修了者及び令和９年３月修了見込みの人が該当します。）

（3）学校教育法施行規則 第150条の規定により高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認められる人及び令和９年３月31日までにこれに該当する見込みの人

【注】同規則 第150条第７号で出願しようとする人は，出願資格の審査が必要です。出願期間開始２週間前までに本学入試課に連絡してください。（大学入学共通テスト本試験受験後に志望大学を本学へ変更し出願しようとする人は，本学入試課に連絡の上，大学入学共通テスト本試験終了日３日後までに申請書類を提出してください。）

同規則 第150条第４号に基づくＧＣＥＡレベルの入学資格により出願しようとする場合の科目数や評価等は，以下のとおりです。

学部	科目数･評価等
人文社会科学部	･Aレベル試験3科目 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。
教育学部	･Aレベル試験3科目 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。
情報学部	･Aレベル試験3科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。 ･情報科学科では数学，行動情報学科では数学及び心理に関する科目を含むものとします。（すべてAレベル試験）
理学部	･Aレベル試験1科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。
工学部	･Aレベル試験3科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。 ･数学及び理科（物理又は化学）に関する科目を含むものとします。
農学部	･Aレベル試験1科目 ･ASレベル試験は不可とします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。 ･理科（物理，化学又は生物）に限ります。
グローバル共創科学部	･Aレベル試験3科目以上 ･ASレベル試験2科目がAレベル試験1科目に相当するものとします。なお，ASレベル試験のみは不可とします。 ･成績は合格（E評価以上）のものに限ります。 ･数学に関する科目を含むものとします。（Aレベル試験）

【参考】学校教育法施行規則第150条の規定内容

1　外国において学校教育における12年の課程を修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人またはこれに準ずる人で文部科学大臣の指定したもの

2　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人

3　専修学校の高等課程（修学年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した人及び令和９年３月31日までに修了見込みの人

4　文部科学大臣の指定した人

5　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した人（旧規程による大学入学資格検定に合格した人を含む。）及び令和９年３月31日までに合格見込みの人で，令和９年３月31日までに18歳に達するもの

5の2　学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した人であって，高等学校卒業程度認定審査規則（令和４年文部科学省令第18号）による高等学校卒業程度認定審査に合格した人

6　学校教育法第90条第２項の規定により大学に入学した人であって，当該者をその後に入学させる大学において，大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

7　大学において，個別の入学資格審査により，高等学校を卒業した人と同等以上の学力があると認めた人で，令和９年３月31日までに18歳に達するもの

2 出願要件

一般選抜に出願する人は，令和９年度大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目を受験していることが必要です。

※本学の指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していない場合は，個別学力検査等を受験できませんので，科目名，科目数には十分注意してください。

なお，「地理歴史，公民」，「理科」及び「外国語」については，次の点に注意してください。

（１）**【地理歴史，公民】**

① ２科目を選択する場合においては，「公共，倫理」と「公共，政治・経済」の組合せ，「地理総合／歴史総合／公共」を選択する場合は，選択解答した問題の出題範囲の科目と同一名称を含む科目の組合せ（「地理総合」と「地理総合，地理探究」など）の選択はできません。

受験科目を２科目または２科目まで可と指定した学科等において同一名称を含む科目を２科目受験した場合は，第１解答科目を有効とします。第２解答科目は受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。

② 受験科目を１科目と指定した学科等において２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

（２）**【理科】**

① 「基礎付き科目」（「物理基礎」など）は，必ず２科目を受験してください。

ただし，「基礎付き科目」は２科目で１つの科目とします。

② 教育学部前期日程及び後期日程，並びにグローバル共創科学部後期日程の志願者で，理科２科目を利用する場合は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など）はできません。同一名称を付した科目の組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。第２解答科目は受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。

③ 受験科目を１科目と指定した学科等において２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

（３）**【外国語】：「英語」**

「英語」を選択解答する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

「リーディング」または「リスニング」のいずれかしか受験していない場合には，大学入学共通テストで「外国語」を受験しなかったものとして取扱いますので十分注意してください。

３ 出願上の注意

（１）本学または他の国公立大学の前期日程試験に合格し，３月15日までに入学手続を行った人は，後期日程試験を受験しても，その合格者とはなりません。

（２）本学または他の国公立大学の学校推薦型選抜の合格者及び総合型選抜に合格し入学手続を完了した人は，本学の一般選抜を受験しても合格者とはなりません。ただし，当該大学の学校推薦型選抜の辞退を許可された人及び総合型選抜の入学辞退届を提出した人は除きます。

（３）本学では，前期日程及び後期日程で，異なる学部間，同じ学部内であっても，それぞれ一つ出願することができます。

（４）出願後（郵便局で出願書類を郵送依頼した後）の志望学部，学科・課程（専攻・専修），選択教科・科目及び選択方法の変更は認めません。

Ⅳ 障害のある入学志願者への受験上の配慮

1　障害のある入学志願者で，**受験上及び修学上の配慮を希望する場合**は，出願する前に，下記により申請してください。結果については決定次第，本人に連絡します。**大学入学共通テストの受験に際し配慮を申請した人も，必ず申請してください。**

なお，申請前に本学のキャンパス（設置場所，環境等）を見学しておくことをお勧めします。

申 請 期 限	令和 8 年 12 月 18 日 （金）（厳守でお願いします。） ※対応の検討に時間を要する場合もありますので，できる限り早めに申請してください。
申請の方法	本学所定の『受験上の配慮申請書』に，『障害者手帳』の写しまたは医師の『診断書』の写しに加え，大学入学共通テストで受験上の配慮を認められた場合は「受験上の配慮事項決定通知書」の写しを添えて申請してください。 なお，必要な場合は，本人またはその立場を代弁できる方（保護者，出身学校関係者等）との面談を行うことがあります。
連　絡　先	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836 静岡大学入試課入試実施係　 TEL 054-238-4465 窓口開設時間　8:30～12:30，13:30～17:15 （土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。）

2　上記申請期限後に，不慮の事故等のため，受験上及び修学上の配慮を希望する場合は，速やかに本人または代理人が医師の『診断書』を持参のうえ，申請期限に遅れた理由書（様式自由）を添えて，上記【連絡先】に申請してください。

3　受験上の配慮の許可を受けた場合には，出願書類送付封筒の表に「受験上の配慮」と朱書きし，本学から送付された「受験上の配慮についての通知」の写しを出願書類に同封してください。

【注】1　「受験上の配慮申請書」は，本学のウェブサイトからダウンロードしてください。
（学部入試サイト＝https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/measures/）
郵便による照会及び『受験上の配慮申請書』の用紙を請求する場合は，110円分の切手を貼り，請求者の郵便番号，住所，氏名を明記した『返信用封筒（長形４号：20.5cm×9cm）』を同封のうえ，上記連絡先まで送付してください。

2　電話による照会及び『受験上の配慮申請書』を持参する場合は，上記窓口開設時間に受け付けます。

Ⅴ 選 抜 方 法 等

◎選抜方法等の概略及び掲載ページ

学部	学科・課程等		前期日程			後期日程		
			共通テスト	個別学力検査等	ページ	共通テスト	個別学力検査等	ページ
人文社会科学部	昼間コース	社会学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	19	―	―	―
		言語文化学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	20	―	―	―
		法学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	21	7(6)教科8科目	小論文	46
		経済学科	7(6)教科8科目	国語・英語・小論文	22	―	―	―
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻 教育実践学専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	23	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	47
		発達教育学専攻 教育心理学専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	23	―	―	―
		発達教育学専攻 幼児教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	23	―	―	―
		初等学習開発学専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	23	―	―	―
		養護教育専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	24	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	48
		特別支援教育専攻	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	25	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	48
		教科教育学専攻 国語教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	25	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	49
		教科教育学専攻 社会科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	25	―	―	―
		教科教育学専攻 数学教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	25	7(6)教科8科目	数学	50
		教科教育学専攻 理科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	27	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	51
		教科教育学専攻 音楽教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文	26	―	―	―
		教科教育学専攻 美術教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文	26	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	52
		教科教育学専攻 保健体育教育専修	7(6)教科8科目	実技・小論文	26	―	―	―
		教科教育学専攻 技術教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	27	―	―	―
		教科教育学専攻 家庭科教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	27	7(6)教科8科目	面接(小論文を含む)	51
		教科教育学専攻 英語教育専修	7(6)教科8科目	国語・数学・英語から2・小論文	27	―	―	―
情報学部	情報科学科		6教科8科目	数学・英語	28	6教科8科目	数学	53
	情報社会学科		7(6)教科8科目	英語・小論文	29	7(6)教科8科目	英語	54
	行動情報学科		7(6)教科8科目	英語・総合	30	7(6)教科8科目	英語	55
理学部	数学科		6教科8科目	数学・理科	31	6教科8科目	数学・調査書	56
	物理学科		6教科8科目	数学・物理	32	6教科8科目	物理・調査書	57
	化学科		6教科8科目	数学・化学	33	6教科8科目	化学	58
	生物科学科		6教科8科目	数学・理科	34	6教科8科目	理科・調査書	59
	地球科学科		6教科8科目	数学・理科	35	6教科8科目	小論文	60
	創造理学(グローバル人材育成)コース		6教科8科目	数学・理科	36	6教科8科目	数学・理科から1・調査書	61
工学部	機械工学科		6教科8科目	数学・物理・英語	37	6教科8科目	数学・物理・英語	62
	電気電子工学科		6教科8科目	数学・物理・英語	38	6教科8科目	数学・物理・英語	63
	電子物質科学科		6教科8科目	数学・理科・英語	39	6教科8科目	数学・理科・英語	64
	化学バイオ工学科		6教科8科目	数学・理科・英語	40	6教科8科目	数学・理科・英語	65
	数理システム工学科		6教科8科目	数学・理科・英語	41	6教科8科目	数学・理科・英語	66
農学部	生物資源科学科		6教科8科目	数学・理科	42	6教科8科目	理科・調査書	67
	応用生命科学科		6教科8科目	数学・理科	43	6教科8科目	理科・調査書	68
共創※1	グローバル共創科学科		【A方式】7(6)教科8科目 【B方式】6教科8科目	国語・数学から1・英語※2	44 45	7(6)教科8科目	小論文	69

1 「大学入学共通テスト」の表記『7(6)教科8科目』について

○国語1，数学2，外国語1，情報1科目と「地理歴史，公民」，理科から3科目を選択（「地理歴史，公民」から1，理科から1科目を必ず含む）する場合，次のようになります。

・地理歴史から1，公民から1，理科から1科目を選択の場合 …… 7教科8科目
・地理歴史から2，理科から1科目を選択の場合 …… 6教科8科目
・「地理歴史，公民」から1，理科から2科目を選択の場合 …… 6教科8科目

2 「個別学力検査」の選択教科・科目について

出願時に登録した選択教科・科目等の出願後の変更は認めません。
理科は，学科等により指定された複数の科目から1科目を選択します。

※1 共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。
※2 グローバル共創科学部では，国語と数学の組合せは選択できません。

１　選抜方法等（前期日程）

学　　部	人文社会科学部（昼間コース）
学　　科	社会学科
募集人員	45 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 650）

7 教 科 8 科 目（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	２つ選択(※1)	必須	必須	１つ選択(※2)〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕	１つ選択	必須
配　　点	100	100×２	50	50	50	150	50

（※１）『地理歴史，公民』は，「地理総合，地理探究」，「歴史総合，日本史探究」，「歴史総合，世界史探究」のうち１科目を含むこと。
（※２）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 300）

１　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）〔配点100〕
２　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点100〕
３　小論文〔配点100〕

配点合計	950

選抜方針	人間社会や文化を現代的，歴史的な観点（哲学・倫理学，心理学，社会学，文化人類学，歴史学・考古学）から見直す学際的な知見と判断力を具えた有能な人材を養成することを目指し，そのための能力・学力・適性等を次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査（国語，英語，小論文）：社会学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い視点からの分析力や考察力，論理的思考力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 なお，同一順位者が合格点である場合には，同順位者すべてを合格者とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備　　考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算）を150点満点に換算します。

前期 －（２）

学部	人文社会科学部（昼間コース）
学科	言語文化学科
募集人員	50名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 790）

７ 教 科 ８ 科 目（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民						数学 ①	数学 ②	理科					外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	２つ選択						必須	必須	１つ選択(※)［「基礎付き科目」は2科目で1つとします。］					１つ選択					必須
配点	200	100×２						50	50	50					200					40

（※）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 500）

1　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）〔配点200〕

2　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

3　小論文〔配点100〕

配点合計　1290

選抜方針

言語によって表現されうるあらゆる文化事象を教育研究の対象とします。言語と文化に関する深い専門性，学際的・国際的な視野，及び外国語の実践的能力を兼ね具えた人材を育成することを目指します。そのための能力・学力・適性等を次の各試験において判断します。

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（2）個別学力検査（国語，英語，小論文）：言語文化学科において学ぶために必要な読解力，論理的思考能力，表現力，芸術・文化的感性，英語の読解力・表現力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。

2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。

3　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
なお，同一順位者が合格点である場合には，同順位者すべてを合格者とします。

4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備考

【注】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　　部	人文社会科学部（昼間コース）
学　　科	法　学　科
募集人員	54名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 625）

７ 教 科 ８ 科 目（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科					外国語					情報
国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
必須	２つ選択						必須	必須	１つ選択(※1)［「基礎付き科目」は2科目で1つとします。］					１つ選択					必須
配点 100+100+50+50+50+50(※2)														200					25

（※１）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。
（※２）『国語』『地理歴史，公民』『数学』『理科』の配点（満点）は，得点率の和が最も大きい２科目を各100点，他の４科目を各50点として換算し直します。
ただし，「得点率の和が最も大きい２科目」の選定に際しては，『地理歴史，公民』第２解答科目は『地理歴史，公民』第１解答科目との組み合わせにおいてのみ，考慮します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

1　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語）［古文・漢文を除く］〔配点120〕
2　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕
3　小論文〔配点80〕

配点合計　1025

選抜方針

法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等の修得を目指すものです。大学入学共通テスト・個別学力検査ではそれに要する能力・学力・適性等を，以下のように判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査（国語，英語，小論文）：法学科において学ぶための基本となる国語と英語の読解力や表現力及び幅広い観点からの分析力や考察力，論理的思考力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
なお，同一順位者が合格点である場合には，同順位者すべてを合格者とします。
4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

前期日程 選抜方法等 人文社会科学部

学　　部	人文社会科学部（昼間コース）
学　　科	経済学科
募集人員	105 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教科 8 科目（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	２つ選択	必須	必須	１つ選択(※)〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕	１つ選択	必須
配　　点	200	100×２	100	100	100	200	50

（※）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 300）

１　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語）［古文・漢文を除く］〔配点60〕
２　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕
３　小論文〔配点40〕

配点合計　1250

選抜方針

人びとの経済活動は，現代社会の根底的な基礎をなしています。社会や経済が変化していくなかで，その実態や理論を学び，経済問題への分析を深め，その解決方法を探ることはきわめて重要です。経済学科では，このような課題に取り組み，社会や企業において活躍できる人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査（国語，英語，小論文）：経済学科において学ぶための基本となる国語・英語能力，主体性をもって多様な人びとと協働して学ぶ態度を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
なお，同一順位者が合格点である場合には，同順位者すべてを合格者とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　部	教育学部			
課程･専攻等	学校教育教員養成課程			
	発達教育学専攻			初等学習開発学専攻
	教育実践学専修	教育心理学専修	幼児教育専修	
募集人員	5名	6名	9名	7名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民					理科					数学 ①	数学 ②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※1･2）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	１つ選択					必須
配　点	200	100×３										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 450）

１　次の（１），（２），（３）から，２教科選択　〔配点150×２〕

（１）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）

（２）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）

（３）　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）

２　小論文　〔配点150〕

配点合計　1400

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。

２　総合点判定：第１志望及び第２志望の志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
ただし，同一者が第１志望及び第２志望いずれの専攻，専修においても合格する得点である場合は，第１志望専攻，専修の合格者とします。

３　同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。

４　合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目，及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

５　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学，英語）の間で，20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【第１,第２志望】教育学部では，第１志望でＡグループの専攻,専修を選択した場合，同一グループ内の専攻，専修の中から第２志望まで選択できます。（グループ分けは79ページ参照）

【注１】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注２】個別学力検査　『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

【注３】入試の選抜・判定に直接影響することはありませんが，幼児教育専修を志望する者は,『バイエルピアノ教則本』65番程度のピアノ演奏技能があることが望まれます。

前期日程

選抜方法等　教育学部

学　部	教育学部
課程･専攻等	学校教育教員養成課程 養護教育専攻
募集人員	4名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教科 8 科目　（地理歴史または理科を2科目選択した場合は，6教科8科目）

	国語	地理歴史，公民						理科					数学①	数学②	外国語				情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	3つ選択(※1･2) 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	1つ選択					必須
配　点	200	100×3											100	100	200					50

（※1）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第1解答科目を有効とします。

（※2）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ2科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第1解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第2解答科目のうちから高得点の1科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 450）

1　次の（1），（2），（3）から，2教科選択　〔配点150×2〕
- （1）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）
- （2）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）
- （3）　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）

2　小論文　〔配点150〕

配点合計　1400

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

1　2段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。
4　合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目，及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に0点がある場合は，不合格となります。
5　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学，英語）の間で，20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注1】大学入学共通テストについて
- ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
- ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注2】個別学力検査　『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

学　部	教 育 学 部			
課程･専攻等	学校教育教員養成課程			
	特別支援教育専攻	教科教育学専攻		
		国語教育専修	社会科教育専修	数学教育専修
募集人員	9名	19名	18名	19名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民					理科					数学①	数学②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※1･2） 〔 理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	１つ選択					必須
配　点	200	100×３										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 450）

１　次の（１），（２），（３）から，２教科選択　〔配点150×２〕

（１）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）

（２）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）

（３）　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）

２　小論文　〔配点150〕

配点合計　1400

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。

２　総合点判定：第１志望及び第２志望の志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
ただし，同一者が第１志望及び第２志望いずれの専攻，専修においても合格する得点である場合は，第１志望専攻，専修の合格者とします。

３　同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。

４　合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目，及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

５　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学，英語）の間で，20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【第１,第２志望】教育学部では，第１志望でＡグループの専攻,専修を選択した場合，同一グループ内の専攻，専修の中から第２志望まで選択できます。（グループ分けは79ページ参照）

【注１】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注２】個別学力検査　『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

前期日程

選抜方法等

教育学部

学　　部	教 育 学 部		
課程･専攻等	学校教育教員養成課程		
	教科教育学専攻		
	音楽教育専修	美術教育専修	保健体育教育専修
募集人員	9 名	7 名	11 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国 語	地理歴史，公民						理　　科					数 学 ①	数 学 ②	外 国 語				情 報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択(※1･2) 〔 理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	１つ選択					必須
配　　点	200	100×３											100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 450）

１　小論文　〔配点150〕

２　実　技（70ページ参照）〔配点300〕

配点合計　1400

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目，及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　部	教育学部			
課程･専攻等	学校教育教員養成課程			
	教科教育学専攻			
	理科教育専修	技術教育専修	家庭科教育専修	英語教育専修
募集人員	12名	8名	5名	12名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民					理科					数学 ①	数学 ②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※1･2）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	１つ選択					必須
配　点	200	100×３										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 450）

１　次の（１），（２），（３）から，２教科選択　〔配点150×２〕

（１）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）

（２）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）

（３）　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）

２　小論文　〔配点150〕

配点合計　1400

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。

２　総合点判定：第１志望及び第２志望の志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
ただし，同一者が第１志望及び第２志望いずれの専攻，専修においても合格する得点である場合は，第１志望専攻，専修の合格者とします。

３　同点者の取扱い：大学入学共通テストの合計得点が高い志願者を上位とします。

４　合否判定に用いる大学入学共通テストの科目又は合計されるべき選択科目，及び個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

５　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学，英語）の間で，20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【第１,第２志望】教育学部では，第１志望でＡグループの専攻,専修を選択した場合，同一グループ内の専攻，専修の中から第２志望まで選択できます。（グループ分けは79ページ参照）

【注１】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注２】個別学力検査　『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

前期日程 選抜方法等 情報学部

学　　部	情 報 学 部
学　　科	情報科学科
募集人員	53 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 625）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※1)	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　　点	150	25	100	100	50+25(※2)	150	25

（※１）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。
（※２）『理科』の配点は，第１解答科目を50点とし，第２解答科目を25点とします。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 550）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点300〕
２　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点250〕

配点合計　1175

選抜方針

人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に，ａ．計算機科学の基礎となる理論や技術，ｂ．インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術，ｃ．人工知能システムなどの高度な情報処理システム，ｄ．音声や画像，自然言語などのメディア処理とその応用，ｅ．認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを多面的・総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点に換算）を150点満点に換算します。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を情報科学科独自の問題とし，情報分野を含む科学技術に関する問題を出題します。

学　　部	情 報 学 部
学　　科	情報社会学科
募集人員	40 名

前期日程
選抜方法等　情報学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

	７ 教 科 ８ 科 目　（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）								
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　　科	外 国 語			情 報
	国語	地理総合，地理探究 / 歴史総合，日本史探究 / 歴史総合，世界史探究 / 公共，倫理 / 公共，政治・経済 / 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 / 物理 / 化学 / 生物 / 地学	英語（リスニングを含む） / ドイツ語 / フランス語 / 中国語 / 韓国語			情報Ⅰ
	必須	２つ選択	必須	必須	１つ選択(※2)〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕	１つ選択			必須
配　　点	200	100+50(※1)	100	100	50	250			100

（※１）『地理歴史，公民』の配点は，第１解答科目を100点とし，第２解答科目を50点とします。
（※２）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 350）

１　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕
２　小論文 〔配点150〕

配点合計	1300

選抜方針	高度情報化は，人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では，情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで，多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして，多様な専門家との協働の場を形成し，新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，表現力，問題発見能力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備　　考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点に換算）を250点満点に換算します。

前期日程

選抜方法等　情報学部

学　　部	情 報 学 部
学　　科	行動情報学科
募集人員	38 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 1000）

７ 教 科 ８ 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民						理科					数学①	数学②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	１つ選択					必須
配　　点	150	100×３											100	100	250					100

（※）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点500〕

２　総合　〔配点500〕

配点合計	2000

選抜方針	高度情報化社会の下で，個人や組織の行動主体の情報学研究や，ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では，情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに，革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備　　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算）を250点満点に換算します。 【注２】個別学力検査について ○『総合』は「情報Ⅰ」（情報社会の問題解決，コミュニケーションと情報デザイン，コンピュータとプログラミング，情報通信ネットワークとデータの活用），「現代の国語」（情報の扱い方に関する事項），「数学Ⅰ」（データの分析），「数学A」（場合の数と確率），「数学B」（統計的な推測）を中心に，現実的課題に関連したデータ分析に関する問題を出題し，学科の特性にあった総合的な能力を評価します。

学　　部	理　学　部
学　　科	数 学 科
募集人員	20 名

前期日程

選抜方法等　理学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	６ 教 科 ８ 科 目							
	国 語	地理歴史，公民	数　学 ①	数　学 ②	理　　科	外 国 語		情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学 生物 地学	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語		情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択		必須
配　　点	200	100	100	100	100×２	200		40
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。							

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 600）

	１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕 ２　理科（物理，化学，生物，地学から１）〔配点200〕
配点合計	1540

選抜方針	現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも，それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。

前期日程

選抜方法等　理学部

学　部	理　学　部
学　科	物理学科
募集人員	20 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

６ 教 科 ８ 科 目

教科	国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科				外国語					情報
科目	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理	化学	生物	地学	英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　点	200	100						100	100	100×２				200					40

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点200〕
２　理科（物理）〔配点200〕

配点合計	1340

選抜方針

物理学の基本となる力学，電磁気学，統計物理学，量子力学などの科目を通じて，物理学的な考え方や数学的手法を学び，自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて，社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。

学　　部	理　学　部
学　　科	化 学 科
募集人員	20 名

前期日程
選抜方法等　理学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	６教科８科目							
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語		情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語		情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択		必須
配　　点	200	100	100	100	100×２	200		40
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。							

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

	１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点100〕 ２　理科（化学）〔配点300〕
配点合計	1340

選抜方針	物理化学，無機化学，有機化学，生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。

前期日程

選抜方法等　理学部

学　　部	理　学　部
学　　科	生物科学科
募集人員	20名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学Ａ	数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ	物理	化学	生物	地学	英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　点	200	100						100	100	100×２				200					40

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 500）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点200〕
２　理科（物理，化学，生物から１）〔配点300〕

配点合計　1440

選抜方針	生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。

学　部	理　学　部
学　科	地球科学科
募集人員	27 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	６教科８科目							
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語		情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語		情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択		必須
配　点	200	100	100	100	100×２	200		40
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。							

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 500）

	１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）〔配点200〕 ２　理科（物理，化学，生物，地学から１）〔配点300〕
配点合計	1440

選抜方針	地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：地球科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。 ○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。 ○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。

前期日程

選抜方法等　理学部

学　部	理　学　部
コース	創造理学（グローバル人材育成）コース
募集人員	８名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 575）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学Ａ	数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　点	100	50						50	50	50×２				200					25

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 200）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点100〕
２　理科（物理，化学，生物，地学から１）〔配点100〕

配点合計　775

選抜方針

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。
（２）個別学力検査：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
○『地学』は「地学基礎・地学」を出題の範囲とします。

【注３】創造理学（グローバル人材育成）コースは，数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い，各学科への配属は２年進級時になります。

学　　部	工 学 部
学　　科	機械工学科
募集人員	90 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

	１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕 ２　理科（物理）〔配点400〕 ３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕
配点合計	1730

選抜方針	航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材，ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材，光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　　考	【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照） 【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。 【注３】宇宙・環境コース，知能・材料コース及び電気機械システムコースへのコース分けを２年次末に行い，各コースへの配属は，３年次はじめとなります。

前期日程 選抜方法等 工学部

学　　部	工 学 部
学　　科	電気電子工学科
募集人員	60 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
２　理科（物理）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は，情報通信・情報処理，生体医用技術，光エレクトロニクス，電気エネルギーの発生および有効利用，パワーエレクトロニクス，電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40％以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

学　　部	工 学 部
学　　科	電子物質科学科
募集人員	50 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	6 教 科 8 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計　1730

選抜方針

電子物質科学は，現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで，本学科では数学，物理や化学の基礎学力があり，日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

前期日程

選抜方法等　工学部

学　　部	工 学 部
学　　科	化学バイオ工学科
募集人員	45 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計　1730

選抜方針

化学バイオ工学科では，光機能物質，生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や，環境化学，化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また，化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより，研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において，責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では，そのために必要な能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40％以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

学　　部	工 学 部
学　　科	数理システム工学科
募集人員	25 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針

数理システム工学科では，数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎，そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により，「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。

前期日程

選抜方法等　農学部

学　部	農　学　部
学　科	生物資源科学科
募集人員	45 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

	６教科８科目						
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　点	200	100	100	100	100×２	200	50

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）〔配点200〕
２　理科（物理，化学，生物から１）〔配点200〕

配点合計	1350

選抜方針

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：理系の教科の達成度から，農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。

学　　部	農　学　部
学　　科	応用生命科学科
募集人員	35 名

前期日程

選抜方法等　農学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

	６教科８科目						
	国語	地理歴史，公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　　点	200	100	100	100	100×２	200	50

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）〔配点200〕
２　理科（物理，化学，生物から１）〔配点200〕

配点合計	1350

選抜方針

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：理系の教科の達成度から，農学部で学ぶに際して必要な学力を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。

前期日程

選抜方法等　グローバル共創科学部

学　部	グローバル共創科学部
学　科	グローバル共創科学科
募集人員	A方式（文系教科型）24 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

７ 教 科 ８ 科 目 （地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民						数学		理科					外国語					情報
								①	②											
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	２つ選択						必須	必須	１つ選択（※）〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕					１つ選択					必須
配　点	200	100×２						100	100	100					200					50
	（※）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。																			

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，
論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

２　次の（１），（２）から，１教科選択　〔配点200〕

（１）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）

（２）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）

配点合計　1350

選抜方針

グローバル共創科学部では，地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題に対して，人文・社会科学から自然科学に至る複眼的アプローチから取り組み，未来社会を構想できる共創型の人材育成を目指します。それに向け，志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：グローバル共創科学部で学ぶための基礎となる，文系と理系を含めた様々な分野の知識，思考力・判断力・表現力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。

２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。

３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。

４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

５　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学）の間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

【注２】個別学力検査について

○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

学　　部	グローバル共創科学部
学　　科	グローバル共創科学科
募集人員	B方式（理系教科型）24 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

	６教科８科目							
	国語	地理歴史，公民	数学①	数学②	理科	外国語		情報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学 生物 地学	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語		情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※1)	必須	必須	２つ選択	１つ選択		必須
配　　点	200	100	100	100	100×２	200		50

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕
２　次の（１），（２）から，１教科選択　〔配点200〕
（１）　国語（現代の国語，言語文化，論理国語，文学国語，古典探究〔古文・漢文を含む〕）
（２）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C）

配点合計	1350

選抜方針

グローバル共創科学部では，地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題に対して，人文・社会科学から自然科学に至る複眼的アプローチから取り組み，未来社会を構想できる共創型の人材育成を目指します。それに向け，志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：グローバル共創科学部で学ぶための基礎となる，文系と理系を含めた様々な分野の知識，思考力・判断力・表現力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。
５　得点調整：個別学力検査の選択教科（国語，数学）の間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」を出題の範囲とします。

２　選抜方法等（後期日程）

学　　部	人文社会科学部（昼間コース）
学　　科	法　学　科
募集人員	18名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 625）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	情報Ⅰ
	必須	２つ選択	必須	必須	１つ選択(※1) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕	１つ選択	必須
配　　点	100+100+50+50+50+50(※2)					200	25

（※１）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。
（※２）『国語』『地理歴史，公民』『数学』『理科』の配点（満点）は，得点率の和が最も大きい２科目を各100点，他の4科目を各50点として換算し直します。
ただし，「得点率の和が最も大きい２科目」の選定に際しては，『地理歴史，公民』第２解答科目は『地理歴史，公民』第１解答科目との組み合わせにおいてのみ，考慮します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　小論文　〔配点400〕

配点合計　1025

選抜方針

法学・政治学は，現代社会の理解を目的に，それに必要な法的・政治的な知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等の修得を目指すものです。大学入学共通テスト・個別学力検査ではそれに要する能力・学力・適性等を，以下のように判断します。

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：法学科で実施する「小論文」では，特定の社会現象を記述した資料をもとに問いを発し，各受験者の解答を通して，各自の知識，分析・総合能力，論理的思考能力，表現能力等を総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
なお，同一順位者が合格点である場合には，同順位者すべてを合格者とします。
4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

後期日程

選抜方法等 教育学部

学　部	教 育 学 部
課程･専攻等	学校教育教員養成課程
	発達教育学専攻
	教育実践学専修
募集人員	2 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民					理科					数学 ①	数学 ②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	3つ選択(※1･2) 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	1つ選択					必須
配　点	200	100×3											100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　面接（小論文を含む）〔配点400〕

配点合計　1350

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
4　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　部	教育学部	
課程･専攻等	学校教育教員養成課程	
	養護教育専攻	特別支援教育専攻
募集人員	2名	5名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民	理科	数学 ①	数学 ②	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 物理 化学 生物 地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	情報Ⅰ
	必須	3つ選択（※1･2） 〔 理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		必須	必須	1つ選択	必須
配　点	200	100×3		100	100	200	50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　面接（小論文を含む）〔配点400〕

配点合計　1350

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

後期日程

選抜方法等

教育学部

学　部	教育学部
課程･専攻等	学校教育教員養成課程
	教科教育学専攻
	国語教育専修
募集人員	３名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

７ 教 科 ８ 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民					理科					数学 ①	数学 ②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／生物基礎／化学基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※1･2） 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	１つ選択					必須
配　点	200	100×３										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　面接（小論文を含む）〔配点400〕

配点合計　1350

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　　部	教 育 学 部
課程･専攻等	学校教育教員養成課程
	教科教育学専攻
	数学教育専修
募集人員	3 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国 語	地理歴史，公民					理　　科					数 学 ①	数 学 ②	外 国 語				情 報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※1･2）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	１つ選択					必須
配　　点	200	100×３										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　数学（数学Ⅲ・数学Ｃ）〔配点400〕

配点合計	1350

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査 『数学Ⅲ』は「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B」の履修を前提とした「数学Ⅲ」の分野とします。『数学C』は「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。

後期日程

選抜方法等

教育学部

学　部	教 育 学 部	
課程･専攻等	学校教育教員養成課程	
	教科教育学専攻	
	理科教育専修	家庭科教育専修
募集人員	6 名	3 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民	理科	数学 ①	数学 ②	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究 / 歴史総合，日本史探究 / 歴史総合，世界史探究 / 公共，倫理 / 公共，政治・経済 / 地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎 / 物理 / 化学 / 生物 / 地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む） / ドイツ語 / フランス語 / 中国語 / 韓国語	情報Ⅰ
	必須	3つ選択(※1･2) 〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕		必須	必須	1つ選択	必須
配　点	200	100×3		100	100	200	50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　面接（小論文を含む）〔配点400〕

配点合計　1350

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

学　　部	教 育 学 部
課程･専攻等	学校教育教員養成課程
	教科教育学専攻
	美術教育専修
募集人員	3 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

7 教 科 8 科 目　（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国 語	地理歴史，公民					理　　科					数 学 ①	数 学 ②	外 国 語				情 報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	3つ選択（※1･2）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕										必須	必須	1つ選択					必須
配　　点	200	100×3										100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 600）

○　面接（小論文を含む）〔配点600〕

配点合計　1550

選抜方針

豊かな人間性と幅広く深い教養を基礎として，教育に関する専門的知識を踏まえた実践的指導力を身につけるとともに，変化の激しい時代の中で新たに生ずる教育課題の対応に向けて主体的に学び続け，他者と協働的に課題の解決に取り組むことのできる教員の育成を目指し，そのために必要となる能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（2）個別学力検査：教職への志向性・意欲，表現力，思考力等を総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
4　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。

備　　考

【注】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

後期日程

選抜方法等 情報学部

学部	情報学部
学科	情報科学科
募集人員	30名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 900）																			
	６ 教 科 ８ 科 目																		
	国語	地理歴史，公民						数学 ①	数学 ②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択（※1）						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配点	150	50						100	100	100+50（※2）				300					50
	（※１）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。 （※２）『理科』の配点は，第１解答科目を100点とし，第２解答科目を50点とします。																		
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）																			
	○　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕																		
配点合計	1300																		

選抜方針	人間・社会と調和する情報システムの構築を目的に，ａ．計算機科学の基礎となる理論や技術，ｂ．インターネットの基礎となる計算機ネットワークの理論と技術，ｃ．人工知能システムなどの高度な情報処理システム，ｄ．音声や画像，自然言語などのメディア処理とその応用，ｅ．認知科学やそのヒューマンインタフェースへの応用などの分野で専門的実践能力をもった人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：情報科学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点に換算）を300点満点に換算します。 【注２】個別学力検査について ○『数学B』は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。

学　　部	情 報 学 部
学　　科	情報社会学科
募集人員	20 名

後期日程

選抜方法等　情報学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 800）								
	7 教 科 8 科 目（地理歴史を２科目選択した場合は，６教科８科目）							
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　　科	外 国 語		情 報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎／物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語		情報Ⅰ
	必須	２つ選択	必須	必須	１つ選択(※2) 〔「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕	１つ選択		必須
配　　点	150	100+50(※1)	100	100	50	150		100
	（※１）『地理歴史，公民』の配点は，第１解答科目を100点とし，第２解答科目を50点とします。 （※２）『理科』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。							
個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 500）								
	○　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点500〕							
配点合計	1300							

選抜方針	高度情報化は，人間の社会や文化に深く影響を与えています。情報社会学科では，情報技術や情報システムの可能性や危険性などを理解したうえで，多角的な観点から情報社会の目標や課題を考えていきます。そして，多様な専門家との協働の場を形成し，新しい情報社会をデザイン・実現できる人材を育成することを目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。 （1）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （2）個別学力検査：情報社会学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，表現力，問題発見能力などを総合的に判断します。
判定方法	1　２段階選抜は行いません。 2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備　　考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点に換算）を150点満点に換算します。

学　部	情報学部
学　科	行動情報学科
募集人員	22名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 1000）

７ 教 科 ８ 科 目（地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民						理科					数学 ①	数学 ②	外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択（※）〔理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	１つ選択					必須
配　点	150	100×３											100	100	250					100

（※）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 400）

○　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点400〕

配点合計	1400

選抜方針

高度情報化社会の下で，個人や組織の行動主体の情報学研究や，ICTのより実践的な活用が強く求められています。行動情報学科では，情報科学と行動科学を融合させ独自に発展しつつある「行動情報学」をベースに，革新的なサービスを創出する人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性などを次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。

（２）個別学力検査：行動情報学科で学ぶための基本となる論理的思考力，理解力，記述力などを総合的に判断します。

判定方法

1　２段階選抜は行いません。

2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。

3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。

4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　考

【注】大学入学共通テストについて

○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）

○「外国語」は200点満点（『英語』を選択した場合は「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点，「リスニング」を免除された場合は「リーディング」を200点満点に換算）を250点満点に換算します。

後期日程

選抜方法等 理学部

学　部	理　学　部
学　科	数 学 科
募集人員	10 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理	化学	生物	地学	英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　点	200	100						100	100	100×２				200					40

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 500）

1　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
2　調査書　〔配点100〕

配点合計　1440

選抜方針

現代数学の基礎的分野について確実な知識を持ち研究・教育・応用いずれの方面に進んでも，それぞれの創造性を十分発揮できるような人材の養成を目標に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：数学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）

判定方法

1　２段階選抜は行いません。
2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，『数学Ｃ』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。

後期日程

選抜方法等　理学部

学　部	理　学　部
学　科	物理学科
募集人員	18名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学 ①	数学 ②	理　科					外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学Ａ	数学Ⅱ，数学Ｂ，数学Ｃ		物理	化学	生物	地学	英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択					１つ選択					必須
配　点	200	100						100	100	100×２					200					40

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 500）

１　理科（物理）〔配点400〕
２　調査書　〔配点100〕

配点合計	1440

選抜方針

物理学の基本となる力学，電磁気学，統計物理学，量子力学などの科目を通じて，物理学的な考え方や数学的手法を学び，自然現象の本質を探る研究や科学技術の研究開発に必要な基礎学力と論理的で柔軟な思考能力を身につけて，社会や学問の発展に貢献できるような人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：物理学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。

学　部	理　学　部
学　科	化 学 科
募集人員	17 名

後期日程

選抜方法等　理学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	６教科８科目							
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語		情報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学 生物 地学	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語		情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択		必須
配　点	200	100	100	100	100×２	200		40
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。							

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 250）

	○　理科（化学）［長文での記述式問題を含む］　〔配点250〕
配点合計	1190

選抜方針	物理化学，無機化学，有機化学，生物化学などの化学の幅広い理論や技術を学び，自然科学の分野において活躍できる人材の育成を目的に，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：「理科（化学）」では，化学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。また，長文による記述式問題を通して，科学的文章表現の能力を判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　考	【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。

後期日程

選抜方法等　理学部

学　　部	理　学　部
学　　科	生物科学科
募集人員	20 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	６教科８科目						
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　　点	200	100	100	100	100×２	200	40
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　理科（物理，化学，生物から１）〔配点300〕
２　調査書　〔配点100〕

配点合計	1340

選抜方針

生物科学についての理論と技術を幅広く学び，生物科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：生物科学科において学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。

学　　部	理　学　部
学　　科	地球科学科
募集人員	10名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 940）

	国語	地理歴史，公民	数学①	数学②	理科	外国語	情報
6教科8科目	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学／生物／地学	英語（リスニングを含む）／ドイツ語／フランス語／中国語／韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択（※）	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　点	200	100	100	100	100×２	200	40

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 200）

○　小論文　〔配点200〕

配点合計	1140

選抜方針	地球科学についての理論と技術を幅広く学び，地球科学の諸問題に対応できる人材の育成を目標とし，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：地球科学科において学ぶための基本となる論理的思考力，表現力や科学の方法に対する理解などを総合的に判断します。
判定方法	1　２段階選抜は行いません。 2　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 3　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 4　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
備　　考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

後期日程

選抜方法等 理学部

学　　部	理　学　部
コ ー ス	創造理学（グローバル人材育成）コース
募集人員	５名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 575）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学①	数学②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理	化学	生物	地学	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　　点	100	50						50	50	50×２				200					25

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 300）

１　次の（１），（２）から，１教科選択　〔配点200〕
（１）　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）
（２）　理科（物理，化学，生物から１）
２　調査書　〔配点100〕

配点合計　875

選抜方針

基礎科学の各分野における学識とそれに基づいた問題解決能力を備え，英語による情報の収集・発信を行う力や国際感覚を持ち，各分野の知識・技術を社会に活かすイノベーションの感覚を持ってグローバルに活躍できる人材の育成を目標とします。そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際して必要となる基礎学力，特に英語の学力の達成度を総合的に判断します。
（２）個別学力検査：創造理学（グローバル人材育成）コースにおいて学ぶための基本となる理解力，論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事情」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ態度の適性に著しく欠ける点がないかという視点から評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の８割とします。また，高校卒業レベルを超える学術的な資格，検定，表彰・顕彰等がある場合には，その実績・活動に応じて総合的に評価を行い，これらの評価の満点を調査書の配点の２割とします。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においても，提出書類をもとに，これと同じ観点で総合的に判断します。）

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査の「理科」の科目間及び個別学力検査の選択教科（数学，理科）の間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，『数学C』は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。
【注３】創造理学（グローバル人材育成）コースは，数学科・物理学科・化学科・生物科学科・地球科学科一括で募集を行い，各学科への配属は２年進級時になります。

学　　部	工 学 部
学　　科	機械工学科
募集人員	50 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
２　理科（物理）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針	航空宇宙の技術や環境問題にも対応できる先端の機械技術を有する人材，ロボットなどの身近な機械の設計や先端材料の強度設計と加工技術を有する人材，光・電気電子・情報・生体・ナノ工学分野を積極的に取入れた機械システム・技術の開発に貢献できる人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。 第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。 第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。 ４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。 ５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。
備　　考	【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照） 【注１】大学入学共通テストについて ○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。 【注２】個別学力検査について ○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。 ○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。 ○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。 【注３】宇宙・環境コース，知能・材料コース及び電気機械システムコースへのコース分けを２年次末に行い，各コースへの配属は，３年次はじめとなります。

後期日程

選抜方法等　工学部

学　　部	工 学 部
学　　科	電気電子工学科
募集人員	36 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６教科８科目						
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	(※)『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕
２　理科（物理）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針

現代文明を支える社会・産業の基幹技術としての電気電子工学は，情報通信・情報処理，生体医用技術，光エレクトロニクス，電気エネルギーの発生および有効利用，パワーエレクトロニクス，電子計測制御技術の開発・応用へと広範囲に時代の要請を先取りして拡がっています。これらの電気電子工学の諸分野において高い専門性を持った人材の育成を目指し，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】情報エレクトロニクスコース及びエネルギー・電子制御コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

学　　部	工 学 部
学　　科	電子物質科学科
募集人員	50 名

後期日程

選抜方法等　工学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針

電子物質科学は，現代の豊かで安全な生活を支えている電気電子機器産業や輸送機器産業あるいは新規エネルギー産業の発展の基盤となる電子物理と物質科学を融合した新しい学問分野です。そこで，本学科では数学，物理や化学の基礎学力があり，日本が世界に誇れるデバイス技術と材料技術をともに修得して新しい学問領域や科学技術の進歩を牽引できる人材の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学B』は「数列」，「数学C」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】電子物理デバイスコース及び材料エネルギー化学コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

後期日程

選抜方法等　工学部

学　部	工 学 部
学　科	化学バイオ工学科
募集人員	45 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　点	150	100	75	75	75×２	150	30

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計	1730

選抜方針

化学バイオ工学科では，光機能物質，生体機能物質などの環境調和型高機能物質のデザインと創成や，環境化学，化学システムの開発・設計に関する教育と研究を行います。また，化学技術と生物工学を新たに融合させた「生物からのものづくり技術」であるケミカルバイオエンジニアリングに関する教育と研究を行います。この化学をベースとした新領域の工学的応用を進めていくことにより，研究開発やシステム構築を含めた化学分野全体において，責任を持って積極的に目的を遂行できる社会のリーダーたる人物の育成を目指します。選考では，そのために必要な能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。
【注３】環境応用化学コース及びバイオ応用工学コースへのコース分けを１年次末に行い，各コースへの配属は，２年次はじめとなります。

学　　部	工 学 部
学　　科	数理システム工学科
募集人員	17 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 730）

	６ 教 科 ８ 科 目						
	国 語	地理歴史，公民	数 学 ①	数 学 ②	理　科	外 国 語	情 報
	国語	地理総合，地理探究／歴史総合，日本史探究／歴史総合，世界史探究／公共，倫理／公共，政治・経済／地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理／化学	英語（リスニングを含む）	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	必須	必須	必須
配　　点	150	100	75	75	75×２	150	30
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。						

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 1000）

１　数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａ・数学Ｂ・数学Ｃ）〔配点400〕
２　理科（物理，化学から１）〔配点400〕
３　英語（英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅡ，英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅢ，論理・表現Ⅰ，論理・表現Ⅱ，論理・表現Ⅲ）〔配点200〕

配点合計　1730

選抜方針

数理システム工学科では，数理モデリング・シミュレーション・最適化など数理科学の手法とプログラミング言語・アルゴリズムなど情報科学の基礎，そしてリスク管理など環境科学の諸分野の学習により，「地球にやさしいシステムエンジニア」の育成を目指しており，そのための能力・学力・適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査：工学を学ぶための基本となる論理的思考力，表現力などを総合的に判断します。
なお，「英語」の一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する英語問題を通じて，これからを生きる工学者としての素養（工学的素養）を判断します。

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に志望する学科への合否を決定します。
第１志望学科以外で合格する場合は上位の志望学科に不合格の場合です。
第２志望と第３志望での合格者数は当該学科の合格者数の40%以内とします。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　　考

【第１，第２，第３志望】工学部では第３志望まで学科を選択できます。（80ページ参照）
【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』は，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。
（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』は，200点満点（「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点）を150点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を150点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『数学Ｂ』は「数列」，「数学Ｃ」は「ベクトル」と「平面上の曲線と複素数平面」を出題の範囲とします。
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○「英語」は，一部を工学部独自の問題とし，科学技術に関する問題を出題します。

後期日程 選抜方法等 農学部

学　部	農　学　部
学　科	生物資源科学科
募集人員	25 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

６ 教 科 ８ 科 目

	国語	地理歴史，公民						数学 ①	数学 ②	理科				外国語					情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理	化学	生物	地学	英語(リスニングを含む)	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)						必須	必須	２つ選択				１つ選択					必須
配　点	200	100						100	100	100×２				200					50
	（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。																		

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　理科（物理，化学，生物から１）〔配点300〕
２　調査書　〔配点100〕

配点合計	1350

選抜方針

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査（理科）：農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力，論理的思考力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等に応じて評価し，これらを総合的に判断します。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においては，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等について，提出書類をもとに評価します。）

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20％以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。

学　部	農　学　部
学　科	応用生命科学科
募集人員	20 名

後期日程

選抜方法等	農学部

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 950）

	６教科８科目						
	国語	地理歴史，公民	数学 ①	数学 ②	理科	外国語	情報
	国語	地理総合，地理探究 歴史総合，日本史探究 歴史総合，世界史探究 公共，倫理 公共，政治・経済 地理総合／歴史総合／公共	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	物理 化学 生物 地学	英語（リスニングを含む） ドイツ語 フランス語 中国語 韓国語	情報Ⅰ
	必須	１つ選択(※)	必須	必須	２つ選択	１つ選択	必須
配　点	200	100	100	100	100×２	200	50

（※）『地理歴史，公民』を２科目受験した場合は，第１解答科目の得点を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点計 400）

１　理科（物理，化学，生物から１）〔配点300〕
２　調査書 〔配点100〕

配点合計	1350

選抜方針

人間と自然の共存する循環型社会の構築を目指し，持続可能な地域社会の形成とグローバル社会の発展に寄与する総合力を備えた人材を養成します。そのために必要となる基礎学力や適性等を，次の各試験において判断します。

（１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。
（２）個別学力検査（理科）：農学部で学ぶための基本となる理解力や考察力，論理的思考力などを総合的に判断します。
（３）学校の長が作成する調査書：「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」の項目等について，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等に応じて評価し，これらを総合的に判断します。（「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対して実施する面接においては，本学部の求める学生像に照らし合わせて，主体性をもって協働して学ぶ適性に優れているかという視点から評価するとともに，資格，学術的な表彰の実績等について，提出書類をもとに評価します。）

判定方法

１　２段階選抜は行いません。
２　総合点判定：志願者の中から，あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の者から順に合否を決定します。
３　同点者の取扱い：個別学力検査等の得点が高い志願者を上位とします。
４　特定の科目等が，ある得点以下又は０点の場合に不合格となる「科目等の最低ライン設定」はありません。
５　得点調整：個別学力検査に「理科」を課している学部・学科では，個別学力検査「理科」の科目間で，原則として20%以上の平均点差が生じ，これが試験問題の難易差に基づくものと認められる場合，得点調整を行います。

備　考

【注１】大学入学共通テストについて
○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。）
○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。
【注２】個別学力検査について
○『物理』は「物理基礎・物理」を出題の範囲とします。
○『化学』は「化学基礎・化学」を出題の範囲とします。
○『生物』は「生物基礎・生物」を出題の範囲とします。
○高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者に対しては，面接を実施します。

後期日程

選抜方法等　グローバル共創科学部

学　　部	グローバル共創科学部
学　　科	グローバル共創科学科
募集人員	20 名

大学入学共通テストで受験が必要な教科・科目　（配点計 600〔 950×600/950 〕）

７ 教 科 ８ 科 目 （地理歴史または理科を２科目選択した場合は，６教科８科目）

	国語	地理歴史，公民						理科					数学①	数学②	外国語				情報
	国語	地理総合，地理探究	歴史総合，日本史探究	歴史総合，世界史探究	公共，倫理	公共，政治・経済	地理総合／歴史総合／公共	物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎	物理	化学	生物	地学	数学Ⅰ，数学A	数学Ⅱ，数学B，数学C	英語（リスニングを含む）	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	情報Ⅰ
	必須	３つ選択(※1･2) 〔 理科の「基礎付き科目」は2科目で1つとします。〕											必須	必須	１つ選択					必須
配　　点	200	100× 3											100	100	200					50

（※１）『理科』は，同一名称を付した科目の組合せ（「物理基礎」と「物理」など ）はできません。この組合せで受験した場合は，第１解答科目を有効とします。

（※２）『地理歴史，公民』及び『理科』をそれぞれ２科目受験した場合は，『地理歴史，公民』と『理科』の第１解答科目に加えて，『地理歴史，公民』と『理科』の第２解答科目のうちから高得点の１科目を採用します。

個別学力検査等で受験が必要な教科・科目等　（配点 200）

○　小論文　〔配点200〕

配点合計	800

選抜方針	グローバル共創科学部では，地球規模の課題から地域社会の課題に至る様々な社会的課題に対して，人文・社会科学から自然科学に至る複眼的アプローチから取り組み，未来社会を構想できる共創型の人材育成を目指します。それに向け，志願者の基礎的な学力・能力・適性等を次の各試験において判断します。 （１）大学入学共通テスト：大学で学ぶに際しての基礎学力の達成度を判断します。 （２）個別学力検査：小論文では，考察力，論理的思考力，文章表現力などを総合的に判断します。
判定方法	１　２段階選抜は行いません。 ２　総合点判定：あらかじめ決められた教科・科目等の配点合計における得点合計が高得点の志願者から順に合否を決定します。 ３　同点者の取扱い：個別学力検査等の合計得点が高い志願者を上位とします。 ４　合否判定に用いる大学入学共通テストの得点又は個別学力検査等の得点に０点がある場合は，不合格となります。
備　　考	【注】大学入学共通テストについて ○『英語』を選択する場合には，「リーディング」と「リスニング」の双方を必ず受験してください。（「リスニング」の免除を許可された人を除く。） ○『英語』を選択した場合は，「リーディング」を150点満点，「リスニング」を50点満点に換算します。「リスニング」を免除された場合は，「リーディング」を200点満点とします。

3　教育学部実技検査

【 前期日程 】

学校教育教員養成課程　教科教育学専攻

音楽教育専修

次のａ，ｂの組み合わせで受験してください。
なお，演奏はすべて暗譜で行います。

a	ピアノ	ハイドン，モーツァルト，ベートーヴェンのピアノソナタの中から，任意の１つの楽章を選択し演奏してください。 （暗譜演奏の上，繰り返しは省略すること。）
b	声　楽	次の３曲から１曲を選択し，（ ）内のいずれかの調で演奏してください。 〔注〕 伴奏譜と伴奏者は，本学で用意します。

1	Nina	(ホ短調,ニ短調)	作曲者不詳(伝:G.B.Pergolesi)
2	Star vicino	(イ長調,ト長調)	L.Mancia(伝:S.Rosa)
3	浜辺の歌(１，２番)	(変イ長調,ヘ長調)	成田為三

美術教育専修

鉛筆による静物デッサン
（モチーフとして，質感の異なる２つの物が配置されています。）

〔注〕鉛筆（色鉛筆を除く）と消し具（練り消しゴム等）を持参してください。
試験に使われる用紙の種類は画用紙（八つ切）で，本学が用意します。

保健体育教育専修

器械，陸上，ボール及び表現の各運動領域における技能について検査します。

〔注〕１ 検査に適する運動着を着用し，試技を行う運動着の胸と背の両方にゼッケン（20cm×20cmの白布を用意し，受験番号を黒書）をつけてください。
ただし，ゼッケンをつける際の安全ピンの使用は禁止します。
なお，試技用，防寒用ともに出身校や氏名が特定できる服装は使用できません。
２ 運動靴は，屋内用と屋外用を用意してください。どの種目でもスパイクシューズは使用できません。

Ⅵ 個別学力検査等の日時・試験時間割及び試験場

【 前 期 日 程 】

試験日			令和 9 年 2 月 25 日(木)
試験時間割			9:00 / 10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00 / 17:00
人文社会科学部	昼間コース	社会学科	小論文 10:30～11:30 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:40
		言語文化学科	小論文 10:30～11:30 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:40
		法学科	小論文 10:30～11:20 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:10
		経済学科	小論文 10:30～11:20 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:10
教育学部	学校教育教員養成課程		数学 9:00～10:20 ／ 小論文 11:00～11:40 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:40 ／ 小論文 11:00～11:40 ／ 実技（音楽教育） 13:30 ～ ／ 小論文 11:00～11:40 ／ 実技（美術教育） 13:30 ～ 15:30 ／ 小論文 11:00～11:40 ／ 実技（保健体育教育） 13:30 ～
情報学部	情報科学科		数学 9:30～11:30 ／ 英語 13:00～14:40
	情報社会学科		小論文 9:30～11:00 ／ 英語 13:00～14:20
	行動情報学科		総合 9:30～11:30 ／ 英語 13:00～14:20
理学部	数学科 物理学科 化学科 創造理学（グローバル人材育成）コース		数学 9:50～11:50 ／ 理科 13:50～15:10
	生物科学科 地球科学科		数学 9:50～11:10 ／ 理科 13:50～15:10
工学部	全学科		数学 9:20～11:20 ／ 英語 12:30～13:50 ／ 理科 14:40～16:00
農学部	全学科		数学 9:50～11:10 ／ 理科 13:50～15:10
共創※1	グローバル共創科学科		数学 9:50～11:10 ／ 英語 13:00～14:20 ／ 国語 15:20～16:40

※1　共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。

【 後 期 日 程 】

試　験　日			令和 9 年 3 月 12 日(金)
試験時間割			9:00 / 10:00 / 11:00 / 12:00 / 13:00 / 14:00 / 15:00 / 16:00 / 17:00
人文社会科学部	昼間コース	法　学　科	小論文 10:00～11:30
教育学部		学校教育教員養成課程	数学(数学教育) 12:20～13:40 面接(小論文を含む)(実践,養護,特別支援,国語,理科,美術,家庭) 9:00 ～
情報学部		情報科学科	数学 12:20～14:20
		情報社会学科 行動情報学科	英語 15:10～16:30
理学部		数学科	面接※ 9:40～ 数学 12:20 ～ 14:20
		物理学科 生物科学科	理科 9:40～11:00 面接※ 12:20～
		化学科	理科 9:40～11:30
		地球科学科	小論文 9:40～11:00
		創造理学(グローバル人材育成)コース	理科 9:40～11:00 数学 12:20～14:20 面接※ 15:00～
工学部		全学科	理科 9:40～11:00 数学 12:20～14:20 英語 15:10～16:30
農学部		全学科	理科 9:40～11:00 面接※ 12:20～
共創※1		グローバル共創科学科	小論文 12:20～13:40

※1　共創とは，グローバル共創科学部のことを指します。

※理学部数学科，物理学科，生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース及び農学部の「面接」は，「学校の長が作成する調査書」が得られない受験者のみ実施します。

《 試 験 場（前期日程及び後期日程）》

<table>
<tr><th>学　部</th><th>試 験 会 場</th><th>交　通　機　関</th></tr>
<tr><td>人文社会科学部</td><td rowspan="5">静岡キャンパス

静岡市駿河区大谷836</td><td>＜しずてつジャストラインバス＞ 美和大谷（みわおおや）線</td></tr>
<tr><td>教　育　学　部</td><td rowspan="4">ＪＲ東海　静岡駅北口バスターミナル⑧番乗り場から

『静岡大学』行き　→「静岡大学」 下車
『静岡大学経由 東大谷』行き→「静岡大学」 下車
『静岡大学経由 ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き
→「静岡大学」 下車
上記以外の『東大谷』行き　→「片山」 下車
上記以外の『ふじのくに地球環境史ﾐｭｰｼﾞｱﾑ』行き
→「片山」 下車
○　バス乗車所要時間：約30分

「静岡大学」下車：試験場まで徒歩約５分～15分
「片山」　下車：試験場まで徒歩約15分～25分</td></tr>
<tr><td>理　学　部</td></tr>
<tr><td>農　学　部</td></tr>
<tr><td>グローバル共創科学部</td></tr>
<tr><td>情　報　学　部</td><td rowspan="2">浜松キャンパス

浜松市中央区城北３－５－１</td><td>＜遠鉄バス＞</td></tr>
<tr><td>工　学　部</td><td>JR東海 浜松駅北口バスターミナル⑮又は⑯番乗り場から
『気賀･三ヶ日･奥山』行き等　（全路線）
→「静岡大学」下車
○　全所要時間：約20分</td></tr>
</table>

《 個別学力検査受験上の注意 》

（１）人文社会科学部，教育学部，理学部，農学部及びグローバル共創科学部は，『静岡キャンパス』で個別学力検査等を実施します。情報学部及び工学部は，『浜松キャンパス』で個別学力検査等を実施します。受験する学部の**試験会場以外では受験できません**ので，試験場を間違えないように注意してください。

（２）試験場までの所要時間は交通事情により異なりますので，十分な余裕をもって出かけてください。また，天候不良や事故等により，利用予定の交通機関に乱れが生じるおそれのある場合には，受験に支障のないよう少しでも早く受験地に到着するようにしてください。

（３）試験当日には，**本学の『受験票』及び『大学入学共通テスト受験票』を片面印刷し，必ず持参してください。**

（４）定期運行している交通機関の事故等により，各試験で定められた集合時刻に間に合わない場合は，直ちに，静岡大学入学試験事務室（電話054-238-4464，4465）に連絡するとともに，交通機関において，これを証明する書類の交付を受ける，又は交通機関のウェブサイトからダウンロードしてください。

（５）試験開始後30分以上の遅刻者は受験を認められません。ただし，志望する学部より別途指示がある場合にはこの限りではありません。なお，上記（４）による遅刻者は，本学が定める基準により，受験を認めることがあります。

（６）試験前日又は試験当日，最寄りの駅又は試験場周辺で「合否至急電話」等の受付をする者がありますが，これらの行為は，本学とは何ら関係ないものであり，これらのことから生じるトラブル等に対して，本学は一切責任を負いませんので十分注意してください。

（７）地震等の災害，天候不良及び交通機関の事故等により，所定の試験日程による試験実施が困難になる不測の事態が発生した場合は，試験開始時刻の繰り下げ等の措置を行うことがあります。措置の詳細については，本学のウェブサイト等に発表しますので注意してください。

（8）次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は，受験を停止し，試験を無効とします。

ア　出願書類や試験上の書類への虚偽の記載や改ざん，又は虚偽の申告をすること

イ　カンニングおよびカンニングの手助け

ウ　監督者等の指示に従わないこと

エ　試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること

（9）試験時間中に使用することが認められていないもの，又は身に付けることを禁止しているものを所持又は使用した場合，若しくは試験時間中に該当するものが発見された場合には，不正行為とみなすことがあります。

(10) 提出書類又は試験に関して不正行為等疑義が生じた場合には，本学は必要に応じて追加的な確認を行うことがあります。また，悪質な不正行為等が認められた場合には，関係機関への通報又は警察への被害届の提出等，法的措置を講ずる場合があります。

〈 教育学部受験上の注意 〉

教育学部前期日程

【実技検査】は，受験者数によって，試験時間が変更になる場合があります。なお，試験時間の変更については，受験票の公表（2月10日9時以降）の際に併せて公表します。

教育学部後期日程

1　教育学部の【面接】は，受験者数によって各専攻・専修ごとの終了時間が異なり，午後まで続くことがあります。この場合，午後の部は，昼食時間をはさんで適宜開始します。

2　【面接】の試験時間の変更については，受験票の公表（2月10日9時以降）の際に併せて公表します。

Ⅶ 合 格 発 表

1 発表日時等

試験区分	発 表 日 時	発 表 場 所
前 期 日 程	令和９年 ３月 ６日（土） 10時頃	**静岡大学 共通教育Ｌ棟掲示板** （83ページの静岡キャンパスマップ参照）
後 期 日 程	令和９年 ３月 20 日（土） 10時頃	

※ 情報学部及び工学部については，同日同時刻に浜松キャンパス構内の「学生支援棟玄関前」（84ページの浜松キャンパスマップ参照）にも掲示します。

2 発 表 方 法

（1）合格者の受験番号を学部・学科(課程･専攻･専修)ごとに掲示するとともに合格者本人に通知します。

（2）電話・電報等の照会には一切応じません。

※ 合格したにもかかわらず，合格発表日から３日経過しても合格通知書が届かない場合は，至急，入試課まで連絡してください。

3 「合格者受験番号リスト」の提供

本学のウェブサイトにも「合格者受験番号リスト」を掲載します。閲覧できる期間は，合格発表日時から入学手続日までです。

※合格者であることは，必ず『合格通知書』で確認してください。

［学部入試ＵＲＬ］　https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

Ⅷ 欠 員 補 充

入学手続完了者が入学定員に満たない場合は，原則として，追加合格により欠員補充を行いますが，第２次募集により欠員補充を行うこともあります。

◆ 追加合格

１　令和9年3月28日（日）8時から該当者に対して，『出願確認票』に記載された「連絡先」へ電話により照会します。

入学の意志について，本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので，本人の所在を明らかにするとともに，本学からの着信に十分注意し，連絡の取れるようにしておいてください。

追加合格の有無及び対象となる学部・学科（課程･専攻･専修）の欠員状況については，令和9年3月27日（土）18時（予定）から本学のウェブサイトに掲載します。

［学部入試ＵＲＬ］　　https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

２　追加合格者の入学手続は，別途通知します。

◆ 欠員補充第２次募集

１　対 象 者：いずれの国公立大学にも入学手続を行っていない人で，《大学入学共通テストで本学が指定した教科・科目等》を受験した人

２　選考方法：大学入学共通テストの成績，出願書類等により選考します。

３　募集方法：実施する場合は，令和9年3月28日（日）以降に本学のウェブサイトで発表します。

［学部入試ＵＲＬ］　　https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

４　注意事項：

（１）欠員補充第２次募集に出願することができるのは，一つの大学・学部です。

（２）欠員補充第２次募集の出願後，他の国公立大学の追加合格等により入学手続を行った場合は，受験しても入学許可は得られません。

◆ 第２志望と第３志望学科入学手続者の取扱いについて

工学部では，第１志望学科に欠員が生じた場合，第２志望または第３志望学科に合格し入学手続をした人については，第１志望学科に変更することがあります。また，第２志望学科に欠員が生じた場合，第３志望学科に合格し入学手続きをした人については，第２志望学科に変更することがあります。

志望学科変更の意志について，本人（保護者等の代理は認められません。）に確認をしますので，本人の所在を明らかにするとともに，連絡の取れるようにしておいてください。

Ⅸ 出 願 手 続

1 出 願 期 間 《 最終日の17時までの書類必着とします。 》

前 期 日 程	**令和９年１月 25 日（月）～ 令和９年２月３日（水）** **《 最終日の17時までの書類必着とします。 》** 〔ただし，2月2日(火)までの発信局消印のある書留速達郵便で， 2月4日(木)17時までに到着したものは受け付けます。〕
後 期 日 程	**インターネット出願登録期間** **令和９年１月 22 日（金）10時 ～ 令和９年２月３日（水）17時**

2 出 願 方 法

(1) 静岡大学インターネット出願サイトにて，上記出願期間内に出願してください。

(2) 出願書類を取り揃え，インターネットにて出願及び検定料の納入後に出力可能となる**『出願封筒用宛名ラベル』**を貼付した封筒（市販の角形２号封筒(240×332㎜)，前期日程，後期日程それぞれ別封筒とする）により，上記期間内に必着するように【書留速達】で期日を指定するなどして，送付してください。

※検定料：17,000円

(3) 書類不備のものは受け付けません。また，提出された書類は返却しません。

(4) 出願に際して記入した事項及び提出した書類については，すべて事実に基づき正確に記載・作成してください。虚偽の記載，改ざん又は不正が判明した場合は，出願の受理後または入学試験実施後であっても，合格や入学許可の取消し等の措置を講ずることがあります。

(5) 郵送した出願書類が本学に到着したかどうかについてはお答えできません。到着を確認したい場合は，日本郵便株式会社のウェブサイト「郵便追跡サービス」にて確認してください。

3 出願書類等 ＜郵送による提出が必要な出願関係書類＞

１．インターネット出願サイトに登録後，出願サイトにて出力できる書類

１ 出願確認票 （一般選抜用）	（１）インターネット出願の際に入力した内容に誤りがないか確認してください。 （２）顔写真データを必ず登録してください。 鮮明な画像（カラー・白黒は問いません。）で登録してください。スマートフォンやデジタルカメラ等で撮影した写真でも構いませんが，アプリ等で加工・修正を施したものは使用できません。 （３）大学入学共通テストの成績請求情報の提供手続方法は，「Web方式」を利用します。静岡大学インターネット出願サイトにて，共通テストの「申込番号」等を入力してください。「申込番号」等は，大学入試センターの大学入学共通テスト出願サイトのマイページから確認してください。（詳細は，「令和９年度大学入学共通テスト受験案内（54頁）」で確認してください。）
２ 出願封筒用宛名ラベル	（出願書類送付用） インターネット出願時に入力した内容と相違ないか確認し，出願書類及び注意事項を確認のうえ，市販の角形２号の封筒に貼付し，出願書類を入れて送付してください。

２．本学学部入試ウェブサイトよりダウンロードして準備する書類

（学部入試サイト：https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/guide/boshu/）

１ 学術的な資格，検定，表彰・顕彰等に係る追加資料 （後期日程　理学部）	（後期日程：理学部数学科，物理学科，生物科学科，創造理学コースの志願者のうち，高校卒業レベルを超える学術的な資格や表彰等を取得，受賞した者） 志願者本人が作成してください。 ※本書類の提出がない場合は，調査書に特段の記載がない限り，申告する取得資格等がないものとみなします。
２ 調査書の代わりに提出する書類 （後期日程　理学部 後期日程　農学部）	（後期日程：理学部数学科，物理学科，生物科学科，創造理学コース 農学部　の志願者のうち， 高等学校卒業程度認定試験合格による志願やその他の事情により，「学校の長が作成する調査書」が得られない志願者） 志願者本人が作成してください。

３．その他，出願に必要な書類（前期日程，後期日程両方に出願する場合はそれぞれに必要）

１ 調 査 書 等	ア　在籍（又は在籍した）学校の長が令和8年4月以降に作成したもの 【注】厳封したものを提出してください。 イ　廃校，被災その他の事情により在籍（又は在籍した）学校の長が作成する「調査書」が得られない場合は，調査書を準備できない理由書と卒業証明書・成績通信簿・その他，入学志願者が提出できる書類 ウ　本人が被災した場合により上記イの書類を整えられない場合は，在籍（又は在籍した）学校を所管する教育委員会，知事又は在籍（又は在籍した）学校の長が作成したこれに関する証明書 エ　高等学校卒業程度認定試験合格者は，合格成績証明書 （合格見込み者は，合格見込成績証明書） オ　高等学校卒業程度認定審査の合格者は，合格証明書

◎ 出 願 先

出願先（郵送先）	担　当	電　話　番　号
〒422-8799 静岡南郵便局留 静岡大学入学試験事務室	学務部入試課	054-238-4464, 4465

※ 受験票についての注意

(1) 受験票は，インターネット出願時に入力したデータを基に作成します。

(2) 令和9年2月10日（水）9時以降にインターネット出願サイトのマイページの受験票の記載事項を確認し，誤りがあった場合は，至急，入試課まで連絡してください。

(3) 受験票をＡ４サイズの白色用紙に片面印刷し，試験日当日に持参してください。また，スマートフォン等での画面表示では，試験場に入場できませんので，必ず紙に印刷された受験票を試験当日に持参して下さい。本学学部入試ウェブサイトより，「受験上の注意事項」を必ず事前確認してください。

※ 検定料等の返還等について

払込後の入学検定料及び入試情報開示手数料は，次の場合を除き，いかなる理由があっても返還しません。

１　検定料等の返還請求ができる場合

①検定料等を払い込んだが本学に出願しなかった場合
②検定料等を誤って二重に払い込んだ場合
③出願書類，出願要件に不備があり，出願が受理されなかった場合
④出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合

２　返還する検定料等の金額

志願者本人の申し出により，上記１の①から③については 17,000円，④については「静岡大学授業料等料金体系規則」に基づき，13,000円を返還します。インターネット出願時に入試情報開示手数料を併せて払い込んだ場合は，検定料の返還請求ができる場合のみ，検定料返還額に加えて700円を返還します。

なお，返還に係る振込手数料は，請求者の負担とします。

３　返還請求の方法

上記１の①または②に該当する場合は，便せん等を使って，次の１～９を明記した検定料等返還請求書を作成して，必ず「入金確認メール」を印刷したものを添付して，令和9年2月26日(金)［必着］までに静岡大学入試課（〒422-8529 静岡市駿河区大谷836)へ郵送してください。

期限を過ぎての返還請求は受け付けません。

また，③の場合は出願書類返却時に，④の場合は出願無資格となった理由等の通知時に「検定料等返還請求書」を同封しますので，必要事項を記入のうえ郵送してください。

静岡大学入学検定料等返還請求書

1　返還請求の理由
2　選抜区分（一般前期・一般後期）
3　整理番号
4　出願しようとした学部名
5　氏名（フリガナ）
6　現住所
7　連絡先電話番号
8　返還請求額
9　返還金振込先　・金融機関名（金融機関コード），支店名（支店コード）
　　・預金種別（当座・普通），口座番号
　　・口座名義人（フリガナ）
　　・口座名義人が志願者と異なる場合は，志願者との続柄

＜大規模災害に被災した入学志願者の入学検定料の特別措置について＞

大規模災害に被災した志願者の入学検定料について，志願者からの免除申請に基づき入学検定料の全額を免除します。
詳しくは，静岡大学学部入試専用サイト（https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/）をご覧ください。

教育学部 第2志望の選択に関する注意事項（前期日程）

教育学部の専攻・専修の選択は，Ａ，Ｂ，Ｃの３つのグループに分かれています。

※Ａグループは，受験している大学入学共通テストの教科・科目に関わらず，グループ内のすべての専攻，専修の中から第２志望まで選択できます。なお，第１志望のみの出願もできます。

※Ｂ，Ｃグループは，第１志望のみで，第２志望の選択はできません。

学部	課程	専攻・専修		グループ	個別学力検査教科等		志望可能数
					必須	選択	
教育学部	学校教育教員養成課程	発達教育学専攻	教育実践学専修	A	小論文	国語・数学・英語から２	グループA の中で第２志望まで
			教育心理学専修				
			幼児教育専修				
		初等学習開発学専攻					
		特別支援教育専攻					
		教科教育学専攻	国語教育専修				
			社会科教育専修				
			数学教育専修				
			理科教育専修				
			技術教育専修				
			家庭科教育専修				
			英語教育専修				
		養護教育専攻		B	小論文	国語・数学・英語から２	第１志望のみ
		教科教育学専攻	音楽教育専修	C	実技（音楽）・小論文		第１志望のみ
			美術教育専修		実技（美術）・小論文		
			保健体育教育専修		実技（保体）・小論文		

工学部 第2志望・第3志望学科の選択に関する注意事項

工学部は，第１志望に加えて，第２志望，第３志望まで学科を選択できます。
第２志望，第３志望学科を選択する場合は，下記の表の条件を確認のうえ選択してください。
なお，第１志望のみ，第１志望と第２志望のみの出願もできます。

〇＝無条件で選択できます。
△＝条件を満たした場合，選択できます。

［前期日程］および［後期日程］

第１志望学科	第２志望学科			第３志望学科		
	学科名	出願可否	条件	学科名	出願可否	条件
機 械 工 学 科	電気電子工学科	〇		電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	電子物質科学科	〇		電気電子工学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	化学バイオ工学科	〇		電気電子工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	数理システム工学科	〇		電気電子工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
電気電子工学科	機械工学科	〇		電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	電子物質科学科	〇		機械工学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	化学バイオ工学科	〇		機械工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	数理システム工学科	〇		機械工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
電子物質科学科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	化学バイオ工学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	〇	
	数理システム工学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	〇	
化学バイオ工学科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				数理システム工学科	〇	
	電子物質科学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				数理システム工学科	〇	
	数理システム工学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	〇	
数理システム工学科	機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	電気電子工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
	電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択	機械工学科	〇	
				電子物質科学科	〇	
				化学バイオ工学科	〇	
	電子物質科学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				化学バイオ工学科	〇	
	化学バイオ工学科	〇		機械工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電気電子工学科	△	個別学力検査で『物理』を選択
				電子物質科学科	〇	

☆ 学生生活

1　入学料・授業料の減免，給付奨学金

本学での入学料・授業料の減免については，【高等教育の修学支援新制度※】（入学料・授業料減免及び返還を要しない日本学生支援機構給付奨学金）により支援を行います。

※令和７年度からの「多子世帯（扶養する子供が３人以上の世帯）への授業料等無償化」も，この制度に含まれます。

日本学生支援機構給付奨学金は，進学する前年の４月下旬から，高校などを通じて日本学生支援機構へ申し込むことができます。

入学料免除は，入学時に，授業料減免は，入学後に，申し込みます。本学における「高等教育の修学支援新制度」の申請時期・方法等詳細については，合格者にお送りする入学手続き関係資料の中でお知らせします。

制度の詳細については，以下ウェブサイトでご確認ください。

○高等教育の修学支援新制度（文部科学省ウェブサイト）
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.html

○日本学生支援機構給付奨学金（日本学生支援機構ウェブサイト）
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/kyufu/index.html

○進学資金シミュレーター（日本学生支援機構ウェブサイト）
https://shogakukin-simulator.jasso.go.jp/

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460（8:30～12:30,13:30～17:15）

2　入学料の徴収猶予

学業成績優秀で経済的に困難なため納付期限までに入学料の納付が困難な人に対しては，本人の申請に基づき選考のうえ，入学料の徴収を猶予することがあります。

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460（8:30～12:30,13:30～17:15）

3　日本学生支援機構奨学金

学業成績が優秀で，経済的理由により修学困難な人には，申請に基づき選考のうえ，採用された場合は，日本学生支援機構から次の奨学金が貸与または給付されます。

詳細については，以下，日本学生支援機構ウェブサイトでご確認ください。
https://www.jasso.go.jp/shogakukin/

上記の他，財団・地方公共団体等の育英奨学団体奨学金の貸与または給付の制度があります。

窓口：学生生活課奨学係　TEL 054-238-4460（8:30～12:30,13:30～17:15）

☆ 学生の住居について

学生寮

浜松地区に**あかつき寮**（男子）及び**あけぼの寮**（女子，留学生）があります。
空きがある場合，新入生（4月入居）の募集を行います。

あかつき寮(男子)，あけぼの寮(女子)の募集について

１．入寮募集要項の公表時期　　令和9年1月頃　本学ウェブサイトにて公表予定

２．申請資格　　浜松キャンパス内の学部〔情報学部・工学部〕の出願者
または同学部への入学手続きを行った者。

※家計状況(所得証明書の金額)を重視した選考を行います。詳細は入寮募集要項をご確認ください。

※学生寮の費用等は以下URLまたはQRコードからご確認ください。

https://www.shizuoka.ac.jp/education/campuslife/dormitory/

※あけぼの寮の留学生募集は上記方法と異なるため，浜松学生支援課留学生係にご確認ください。

【問い合わせ先】

（あかつき寮，あけぼの寮(女子)）
浜松学生支援課 学生支援係
E-mail：hc-gakuseisien@adb.shizuoka.ac.jp

（あけぼの寮(留学生)）
浜松学生支援課 留学生係
E-mail：h-ryugaku@adb.shizuoka.ac.jp

国際交流会館（静岡・浜松）

外国人留学生及び外国人研究者に宿舎を提供すると共に，国際交流の場を供することを目的とした施設です。静岡国際交流会館では，国際交流に関心のある日本人も入居しています。
静岡国際交流会館では日本人新入生（４月入居）の募集を行うことがあります。
その場合は，令和9年2月上旬頃に本学ウェブサイトへ募集要項を掲載します。

※費用，設備等は以下URLまたはQRコードからご確認ください。

https://www.suoic.shizuoka.ac.jp/international/dwelling/

【問い合わせ先】

（新入生の4月入居募集について）
学生生活課 生活支援係
E-mail：seikatsufukushi@adb.shizuoka.ac.jp

（その他問い合わせ）
国際課 国際学術交流係
E-mail：int-office@adb.shizuoka.ac.jp

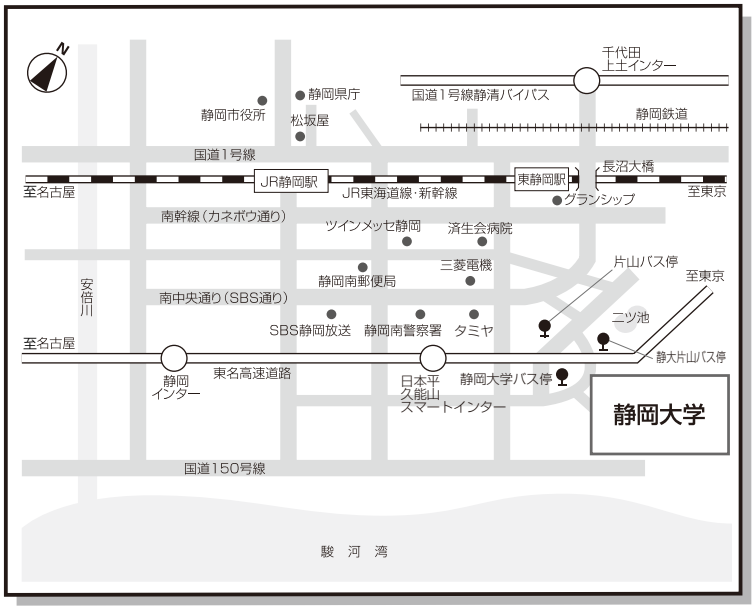
アパート・マンション

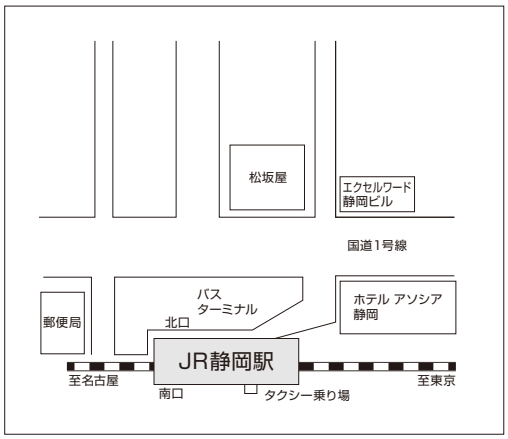
静岡大学生活協同組合が，静岡地区及び浜松地区のアパート・マンションを紹介しています。
また，物件の情報は同生協ホームページにて公開されています。「入学準備説明会」や「アパート仮予約」に関する情報も後日公開します。（12月中旬頃更新予定）
静大生のアパート・マンション情報はこちらのウェブサイトをごらんください。
静岡大学生活協同組合　アパート・マンション紹介サイト
https://www.univcoop-tokai.jp/sucoop/fresh/fresh_419.html

【問い合わせ先】
[静岡]住まい事業部　Tel 054-237-7067（11:00～15:00　土日祝祭日休み）
[浜松]住まい事業部　Tel 053-412-5255（11:00～16:15　土日祝祭日休み）
※最新の営業時間は静岡大学生協ウェブサイトにてご確認ください。

静岡大学静岡キャンパス

人文社会科学部・教育学部・理学部・農学部・グローバル共創科学部





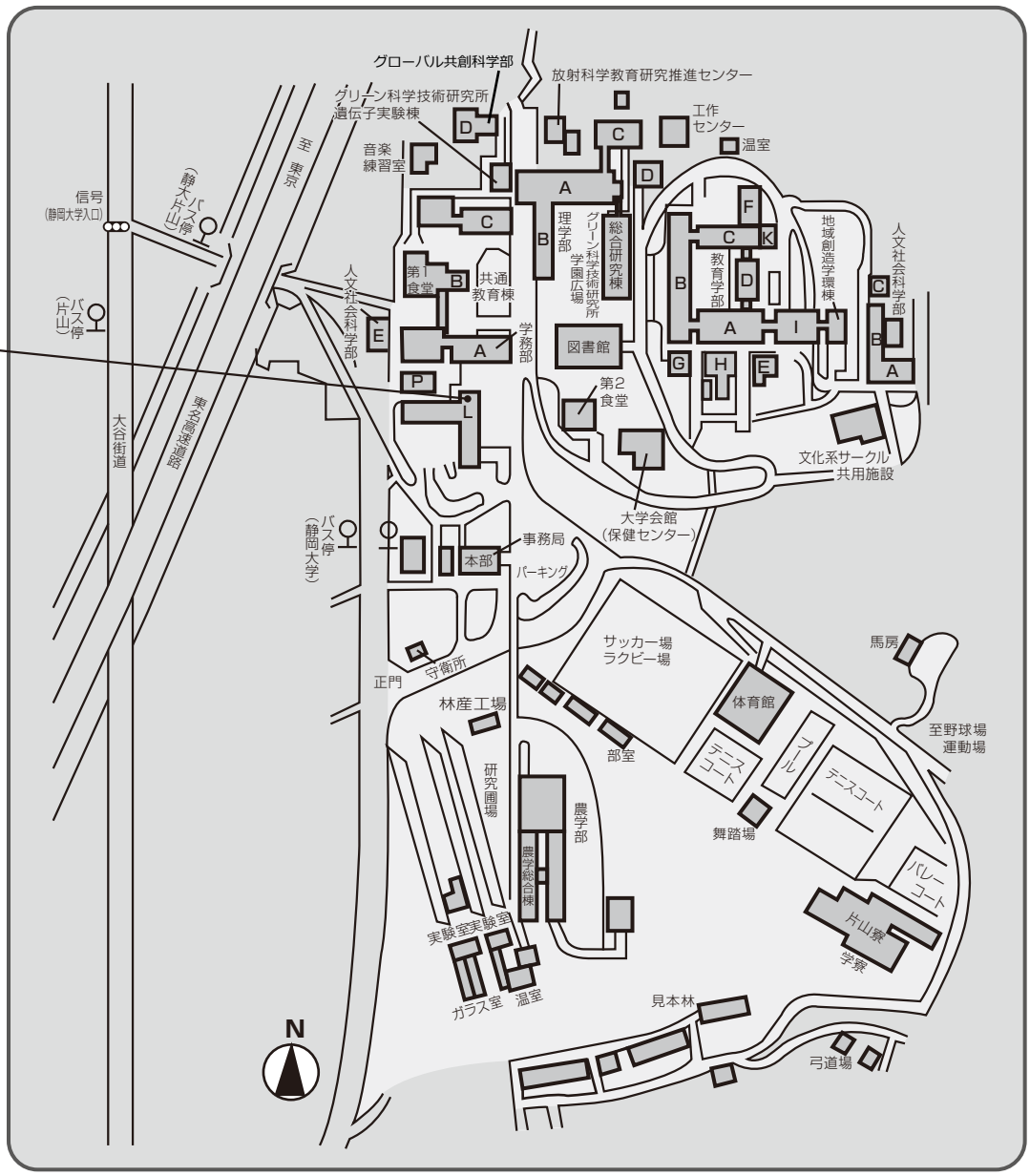
■静岡キャンパスへの交通案内

1．JR静岡駅前北口バスターミナルからしずてつジャストラインバス８番乗り場（静岡大学行き、東大谷行きまたはふじのくに地域環境史ミュージアム行き）に乗車し「静岡大学」または「片山」下車（所要時間約30分）

2．JR静岡駅からタクシーで約20分

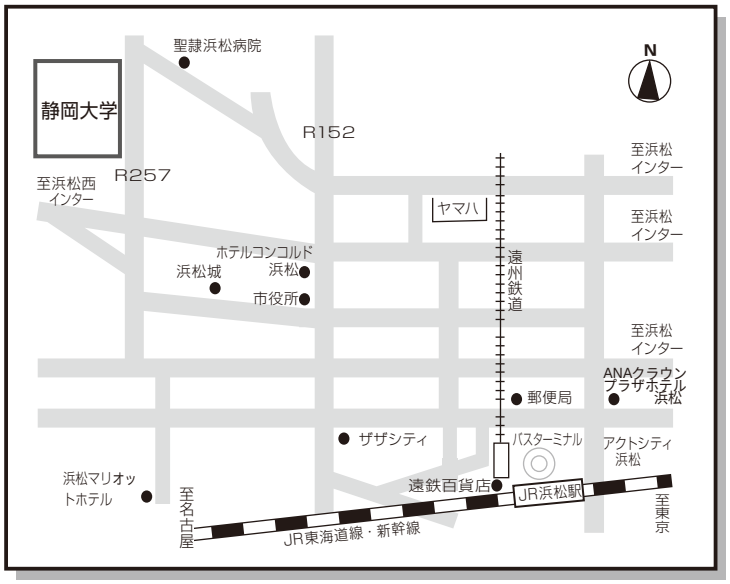
合格発表場所

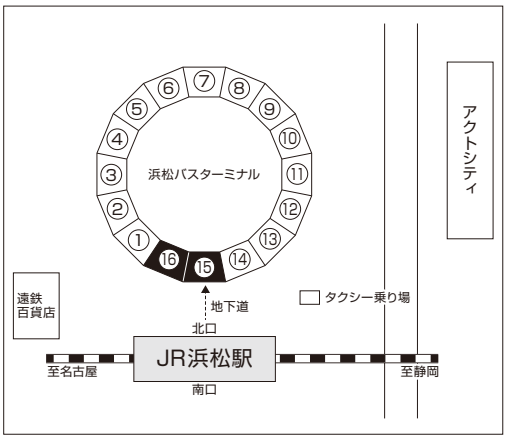
共通教育Ｌ棟掲示板



静岡大学浜松キャンパス

情報学部・工学部



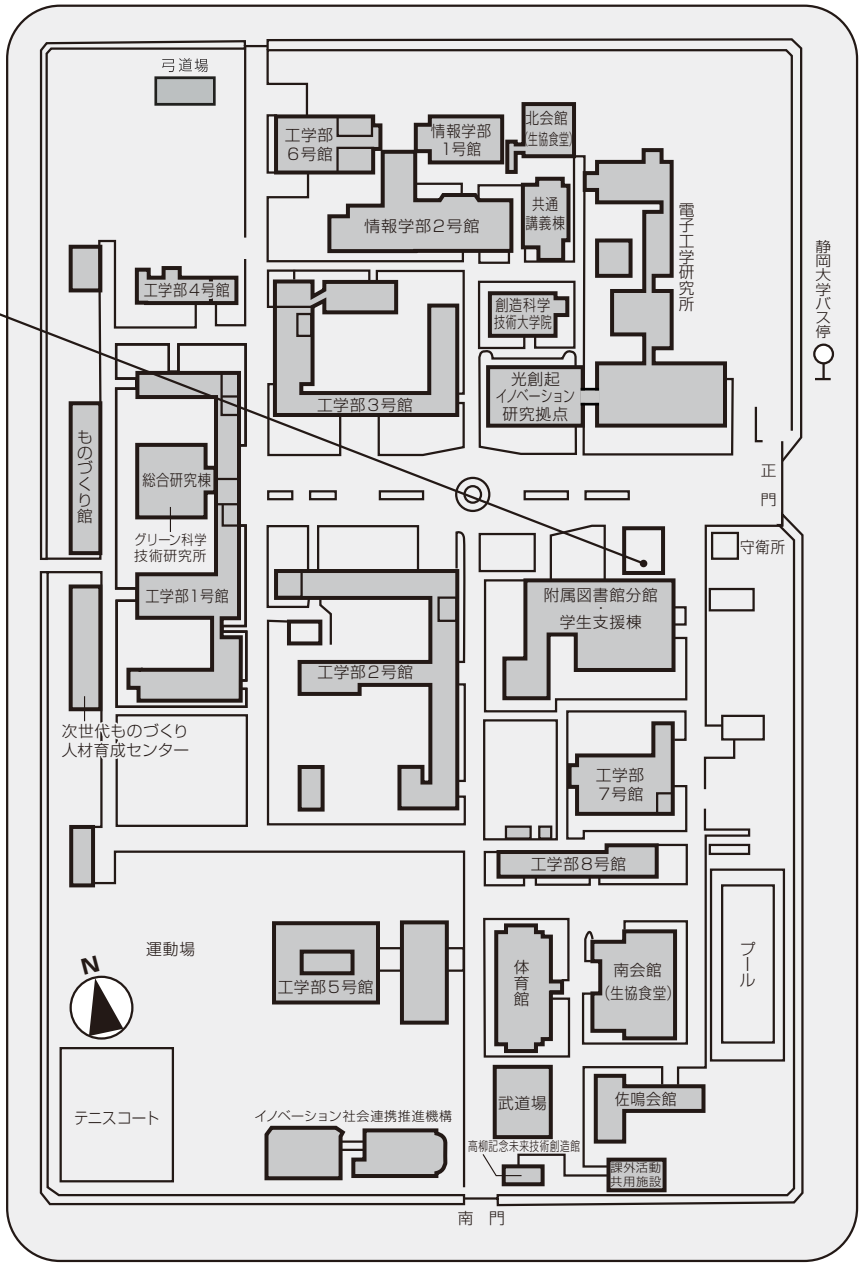


■浜松キャンパスへの交通案内

1．JR浜松駅前北口バスターミナルから遠州鉄道バス15番または16番乗り場（気賀・三ケ日・奥山行き等全路線）に乗車し「静岡大学」下車　（所要時間約20分）

2．JR浜松駅からタクシーで約15分

合格発表場所
学生支援棟玄関前



☆ 入 学 手 続 （概 要）

入学手続方法		入学手続は，原則として郵送「書留速達」とします。 **合格者には『合格通知書』とともに『入学手続案内』を送付します。** **入学手続は，『入学手続案内』に従って行ってください。**
手続期限	前期日程	令和 9 年 3 月 14 日（日）
	後期日程	令和 9 年 3 月 26 日（金）
納付金の納入	入 学 料	282,000 円
	授 業 料 〔令和８年度実績額〕	半期分　267,900 円 （年　額　535,800 円）
	【注】１　前期分の授業料については，令和9年4月1日から同年4月30日までに納入してください。 ２　入学料はいかなる理由があっても返還しません。 ３　本学では，文部科学省の定める標準額に準拠することとしています。 ４　在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。	
留 意 事 項		１　入学手続の際は，大学入学共通テスト出願サイトのマイページ上で取得した**『国公立大学入学確認票』が必要**となります。 ２　特別な事情のある人で，上記の入学手続期限までに入学手続きができない場合は，前期日程は３月15日，後期日程は３月27日に手続きを認める場合があります。 ３　上記の入学手続期限までに入学手続を完了しない者は，入学辞退者として取扱います。 ４　一つの国公立大学に入学手続を行った者は，これを辞退して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

《 ノート型パーソナルコンピュータの共同購入について 》

次の学部・学科等では，ノート型パーソナルコンピュータの利用が必須となりますので，入学時に各学部･学科等の選定機種（以下予定価格，ソフトを含む）の共同購入を推奨しています。

詳細は，合格者に連絡をしますが，予めご案内します。（問い合わせは，各学部までお願いします。）

なお，この他の学部・学科等においてもオンライン授業の受講等のため，各自のパーソナルコンピュータを用意することを推奨します。

○情報学部 税込み20～25万円程度（動産保険・代替機貸出を含む）
○理学部 生物科学科，創造理学（グローバル人材育成）コース　税込み25万円程度
○工学部 税込み24万円程度（昨年度実績，動産保険を含む）

☆ 入 学 試 験 情 報 の 提 供

１．インターネット

［学部入試ＵＲＬ］　**https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/**

◎前年度の入学試験実施状況は，『令和８年度入学試験に関する調査資料』に掲載されています。
『令和８年度入学試験に関する調査資料』
https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/information/data/document/r08chousa.pdf

２．入試情報の開示

静岡大学には，入試情報開示制度があります。令和９年度入学試験成績等のうち，個人の試験成績の開示申請は，インターネット出願と同時にインターネット上で受け付けます。申請者は令和9年5月17日（月）以降にインターネット出願サイトのマイページで確認してください。

また，令和9年5月11日（火）から6月30日（水）までは窓口または郵送で受け付け，申請者には情報開示決定通知書を順次送付します。この期間に入学試験成績等の開示申請を行う場合には，**本学受験票及び本人確認ができる証明書等（大学入学共通テスト受験票等）**が必要となります。

詳細は，入試課までお問い合わせください。

☆ 個 人 情 報 の 取 扱 い

個人情報については，「個人情報の保護に関する法律」及び「静岡大学個人情報管理規則」に基づいて，次のとおり取扱います。

１．出願書類に記載された個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続業務，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究を行うために利用します。

２．国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため，氏名，性別，生年月日，高等学校等コード，大学入学共通テストの受験番号，合否及び入学手続に関する個人情報を独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送付します。（総合型選抜，学校推薦型選抜，一般選抜に限ります。）

３．入学者の個人情報については，①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，授業料免除・奨学金申請，就職支援等），③授業料徴収，④入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究に関する業務を行うために利用します。

４．上記１．及び３．の各種業務での利用に当たっては，一部の業務を本学より当該業務の委託を受けた業者（以下，「受託業者」という。）において行うことがあります。受託業者には，委託した業務を遂行するために必要となる限度で，個人情報の全部または一部を提供しますが，提供する個人データについては，本学において必要かつ適切な監督措置を講じます。

☆ 安 全 保 障 輸 出 管 理

静岡大学では，「外国為替及び外国貿易法」に基づき，「静岡大学安全保障輸出管理規則」を定め，外国人留学生の受入れに際し厳格な審査を実施しています。

規制事項に該当する場合は，希望する教育が受けられない場合や研究ができない場合がありますので，注意してください。

【参考】「静岡大学安全保障輸出管理規則」
静岡大学規則集 https://reiki.adb.shizuoka.ac.jp/aggregate/catalog/index.html
第1編　全学共通＞第2章　組織・運営＞静岡大学安全保障輸出管理規則

経済産業省「安全保障貿易管理」
https://www.meti.go.jp/policy/anpo/gaiyou.html
ENGLISH PAGE https://www.meti.go.jp/policy/anpo/englishpage.html

入学試験に関する情報提供

静岡大学 学部入試サイト

・お知らせ　　・出願状況，合格発表
・募集要項等請求
・オープンキャンパス，説明会　　など

https://www.shizuoka.ac.jp/nyushi/

入学試験に関する問い合わせ先

必ず，受験者本人が照会するようにしてください。

8:30～12:30，13:30～17:15〔土曜日，日曜日，祝(休)日及び本学の一斉休業日は受け付けません。〕

対 象	担当部局	所 在 地	電 話 番 号
人文社会科学部	人文社会科学部学務係	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4486
教 育 学 部	教育学部学務係		054-238-4580，4579
理 学 部	理学部学務係		054-238-4861
農 学 部	農学部学務係		054-238-4815，4816
グローバル共創科学部	グローバル共創科学部学務係		054-238-3715
情 報 学 部	情報学部教務係	〒432-8561 浜松市中央区城北三丁目5番1号	053-478-1510，1511
工 学 部	工学部教務係		053-478-1010
概 要	入 試 課	〒422-8529 静岡市駿河区大谷836	054-238-4464，4465